

TW200改で地球のてっぺんに! 風間深志さん、北極点への44日

8月28日～30日'87SUGO TTフォーミュラ世界選手権レースへ
SUGOインターナショナル・レーシングコース完成

特集

お店は遊びの仕掛人
この夏の、ツーリング・プラン大公開!



TW200改で地球のてっぺんに! 志さん、北極点への44日間

写真：佐藤秀明氏

史上初めて、バイクで北極点に到達！
オフロードライダー・風間深志さんとアドベンチャートレイル・ヤマハTW200改の快挙は、いま世界中のバイク大好き人同士の夢を大きくふくらませています。
氷点下45度の極寒の中、乱氷帯を越え、リードを渡り、ブリザードを避け、ひたすら地球のてっぺんをめざしつづけた風間さんとTW200改の苦闘の44日間を、カラーグラフィックインタビュー（8ページ）で紹介しました。



TW200改の風間さん、5mのスレチ（北極用の木製ソリ）を引く2台のヤマハスノーモビルに分乗した日本人2人、イヌイット（カナダ・エスキモー）2人の5人からなる遠征隊が北極点をめざした



TWの整備は1日たりとも欠かせない。マイナス45度の中での整備だ



ブリザードで終日テントに閉じ込められる日も何度もあった。そんな日は縫い物をしたり、オココ、デービッドのイヌイットとおしゃべりしたり、児童組のテープを聞いてみずから元気づけたり……



乱氷帯を崩して道をつけながら進む。時には100メートル行くのに2時間を費すことも

行く手をリード（氷原が割れ海面の表われた部分）に阻まれるとやむなく迂回をくり返す。このため実走行距離にくらべ北進距離が伸びないのだ

風間深



終盤に2日で110キロ走破という好条件にもめくまれ現地時間4月20日、午後9時（日本時間4月21日、正午）ついに北極点に到達。さっそくヘルメットをのせたポールに、日本・カナダ両国の国旗を掲げる（撮影：風間歳男氏）



4月1日、世界初の快挙をなしとげて成田空港に到着。記者会見にのぞむ遠征隊の一行。右からカメラマンの佐藤秀明、隊長・風間深志、隊員・関崎健弘、コーディネーター・五月女次男のみなさん



一番の楽しみだったチャーターフライトの到着。ヤマハ本社から差入れのウナギは、最高だった



北極点到達！の報を受けて飛来したチャーター機のメーターが、N90°00'00"を示している（撮影：風間歳男氏）

7年目を迎えた 55mphキャンペーン スタート!

モーターサイクルの奥深い魅力を、幅広い人びとにアピールしつづけて7年、スポーツバイクファンに拡大に大きな役割を果たしている『55mph』キャンペーンが、ことしもスタートします。夏のスポーツバイク商戦にどうぞみなさまのお店でも、この『55mph』キャンペーンを存分にご活用ください。

『55mph』第7号は、モロッコ特集

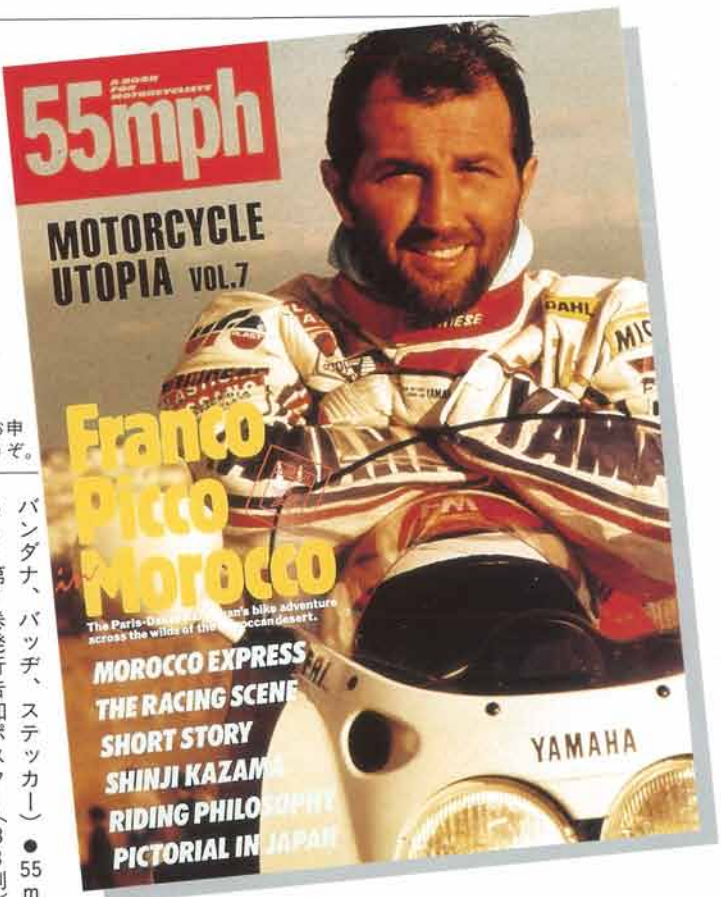
キャンペーンの中心は、美しいビジュアルで人気の高いスペシャルブック『55mph』。第7巻を数える今回は、巻頭の「フランコ・ピッコ、イン・モロッコ」特集をはじめ、A4判変形、オールカラー、全100ページの中に、以下のような充実した記事を満載しています。

- 巻頭特集・「フランコ・ピッコ、イン・モロッコ」、バリーダカールラリーでおなじみのイタリア人ライダー、フランコ・ピッコがテレネを、またFZR750を駆って雄大なモロッコの自然を走破。バイクのロマンあふれる世界を展開します。
- レース記事・'86鈴鹿8時間耐久レースと'87日本GPのふたつの世界選手権レースを、ふたつの角度から紹介。
- 景山民夫氏の短編小説。
- 風間深志氏の北極遠征ドキュメント
- 河崎裕之選手のライディング論…ピギナーも、ベテランも必読のロードレースの重鎮、河崎選手のライディング論。
- 国内ツーリング紀行「富士・箱根・伊豆」



セロー225にニューカラー登場

マウンテン・トレール「セロー225」に、ご覧のようなニューカラー「ホワイト/チャビレッド」が新登場しています。これにより「セロー225」は、ホワイト/フォレストグリーン、ホワイト/コンペティションイエローの従来カラーに加えて全3タイプ。どうぞ、お客さまにあわせておすすめください。



※ニューデザインのTシャツとバンダナ。お申込みは、担当のパーツセールスマンにどうぞ。

店頭の55mphフェアで スポーツツューザーの来店促進を!

また『55mph』ブックの発刊とあわせて●55mphビデオ、●販売店さま向け55mphパネルセット（B全判イメージポスターとブックの展示用セット）●55mphオリジナルグッズ（Tシャツ、

バンダナ、バッジ、ステッカー）●55mph・第7巻発行告知ポスター（B3判）など、この『55mph』キャンペーンを、お店のスポーツバイクセラーに活用いただくためのツールも豊富に用意いたしました。こうしたツールをフルに活用するうえ、この夏のYES活動企画などと連動したお店独自の『55mphセール』によって、どうぞ積極的な、スポーツツューザーの来店促進をおはかりください。



※55mphキャンペーンについて、詳細は担当セールスマンにお問合せください。

SUGOインターナショナル・レーシングコース完成



安全性向上へ、プラットホーム、ビットロード、ビットエリア、ビットも改修された

30Rの第1コーナーからヘアピンまで下り、S字からHP（ハイポイント）コーナーへ……この部分が、最も大きく変わった所



'75年5月のオープンから12年、TBCビッグロードレースをはじめ、かすかすのドラマの舞台となってきたスポーツランドSUGOロードコースが、このほど装いも一新、全長3737.5m、F1M、F1A公認のインターナショナル・レーシングコースに生まれかかわっています。

8月28～30日、わが国初のTTフォーミュラ世界選手権レースを待つSUGOインターナショナル・レーシングコース。さあ、みなさまのお店でも、この一大イベントを'87年夏のご商売にフルにご活用ください。

ハイスピードコースとテクニカルコースの魅力を両立させて、楽しさ倍増

ファンやライダーから『これは単なる改修ではない、新コースの誕生だ』と歓迎されるほど大幅な変容をとげたSUGOインターナショナル・レーシングコース。

その最大の特徴は、これまでのハイスピードコースとしての魅力に、テクニカルコースの要素をふんだんにもり込み、変化に富んだシーンをつくり出していること。1076.8m延長し、3737.5mとなったニューコースには、25Rから250Rまで、大小14のコーナーが設けられています。

一方、観客にとっても、グランドスタンドからの眺望を大きく広げて、観戦の楽しさを倍増。メインスタンド、SPスタンド、シケインスタンドおよび観戦エリアを含めての観客収容能力も3万人から5万人に拡大しています。

SUGOインターナショナル・レーシングコース

(コース)

- 全長：3737.50m
- 最大直線長：704.50m
- 幅員：10.0～12.5m
- 最大縦断勾配：10.0%
- 最大横断勾配：10.0%
- 標高差：69.83m
- セフティーゾーン：最大62m
- コーナー：25R～250R 計14

- 舗装：密粒特殊ギャップアスファルトコンクリート舗装
- 監視ポスト：17カ所
- (ビット)
- 間口5m×奥行6m 計30
- (パドックエリア)
- 面積：約31000㎡
- VIPルーム、救護室、車検室
- (スタンド) ● 収容能力：50,000名

8月28日
~30日

'87TTフォーミュラ
世界選手権レース開催へ

SUGO



ニューインターナショナル・レーシングコースの完成にあわせて、8月28~30日に予定されている、'87TTフォーミュラ世界選手権シリーズ第7戦・SUGO大会の概要も発表されています。

それによると、賞金総額1118万円をかけて行なわれるこの大会は、スポーツランドSUGO、日本モーターサイクル協会(MFJ)、(株)仙台放送、(株)フジテレビジョンの共同主催のもとに、大塚製薬(株)の協賛を得て『ポカリスエット'87SUGO TTフォーミュラ世界選手権レース』として開催されます。

また、当日は世界選手権TT-F1レースのほかにも、国際格式のTT-F3、国内格式のノービス、ジュニアTT-F3レースも開かれることになっています。

※前売入場券その他、この『ポカリスエット'87SUGO TTフォーミュラ世界選手権レース』について、詳しくは、☎0224(83)3120・TT-F1ホットラインへ、お気軽にどうぞ

もりあがる '87TT-F1世界選手権シリーズ

市販車ベースのマシンによって競われるロードレースの頂点・TT-F1世界選手権レース。今シーズンは4月20日のイタリア・ラウンド(写真)から、9月27日のイギリスラウンドまで、全9戦、8カ国での開催が予定されています。

初の日本ラウンド、SUGO大会の開催、FZR750などニューマシンの登場、そしてもっかV5のチャンピオン、J・ダンロップのV6なるか……など、例年にもまして大きなもりあがりを見せる'87TT-F1世界選手権シリーズ。5月3日のハンガリーラウンドでは、V・フェラーリ、D・タルドツィのヤマハ勢がワン・ツーを独占。ランキングでもヤマハを駆るP・ラバットが首位に立っています。



こけら落としは、過去最高1024台が参加したSUGO選手権第1戦(5月2-3日)。早くもニューコースに、元気いっぱいの走りがくりひろげられている



新設のSPインコーナー。正面にSPスタンドが設けられる



カラーグラフィック&インタビュー

風間深志さん、
北極点への44日..... 2/8

★カラー

7年目を迎えた **55mph** キャンペーンスタート..... 4

SUGOインターナショナル・
レーシングコース完成..... 5

特集 お店は遊びの仕掛人
お客さまに大好評の
うちの、ツーリング・プラン大公開..... 10

- フォロー・ザ・トレンド/仕掛人が語る若者たちはいま
おしゃれな文房具が売れています..... 19
- YAMAHA NOW マリンスポーツ新時代への期待を集めるヤマハヨット..... 22
- お忙しい販売店さんのための情報アンテナ 情報スクランブル..... 24
- ニューモデルのお客さま XV400ピラーゴ..... 26

- ヤマハトピックス..... 27
- レーシング★エクスプレス..... 32
- インフォメーション・フロム・ヤマハ..... 34
- Y.E.S.S.クラブ通信..... 36
- お店訪問・こんにちはヤマハです..... 38
- パーツ&アクセサリーズ..... 40
- ザ・レイティスト・アド..... 42

セールス・カレンダー 6~7月

6月		7月	
水無月	24水	文月	
4木 歯の衛生週間、虫歯予防デー	25木	1水 国民安全の日、安全週間	
5金 世界環境デー、環境週間	26金	2木	
6土	27土	3金	
7日 計量記念日	28日 貿易記念日	4土 アメリカ独立記念日	
8月	29月		
9火	30火 大はらい 夏越祭		
10水 時の記念日			
11木 入梅			
12金			
13土			
14日			
15月			
16火			
17水			
18木 海外移住の日			
19金			
20土			
21日 父の日			
22月 夏至			
23火			



う っとうしい毎日がつづきます。せめて店内
だけは、そんな空模様を忘れさせるように、
さわやかムードで行きたいものですね。濡れたヘル
メットを掛けるスタンドや、レインコート掛け
など、雨の日のお客さまへの配慮もお忘れなく。

6 月から7月にかけては、サラリーマンのホ
オが久しぶりにゆるむボーナス月。ボナ
スセール開催や、サラリーマン・ユーザーへ
のDM発送なども、夏商戦に欠かせぬ作業です。

7 の梅雨空が明けると、待望のスポーツ・レ
ジャーの夏の到来。8時間耐久レース、サマ
ーフェスティバル、SUGO・TT-F1世界選手
権レース、そしてお店のサマー・プラン.....そ
ろそろ、お客さまにしっかりとご案内したい時
期ですね。

TW200改で地球のてっぺんに！ 風間深志さん、北極点への44日



地平線の集約 「点」を求めて……

矢継ぎ早に発せられる言葉のひとつひとつから、バイクに対する、アドベンチャーに対する、限らない情熱がほとばしる風間深志さん。インタビューは、5月2日、成田空港から都心に向かう車中で行なわれた。

千人もの人たちの気持を感じながらTWに乗った

「気分は最高、太陽がまぶしい」北極点に立って、ベースキャンプへの第一報のこの言葉、とても印象的でした。

風間 それまで僕らのすべては太陽に支配されていたからね。方向を知る最大の目安だったし、太陽の出ないホワイトアウトの日なんて、まるで白い闇の世界です。毎日本陽に祈りつづけていた。ところが北極点に到達した瞬間、すべてが終り冷静になってみると昨日までは全然ちがって太陽がみえるんです。祈りの対象から風景の一部に戻って、途端にとってもまぶしく感じられたんです。自分でも安堵の表現のすべてのような気がしますね。

風間 風間さんを北極点に向かわせたものはなんだったのでしょうか。

風間 地平線をさがしに行っていたんです。僕は。きっかけは82年に出場したパリ〜ダカールラリー。その時ちよつとひっかかったのね、地平線を追求するなら、それを集約した点に触れてみなければって。地平線という言葉に惚れて、地平線を追って、それを集約した点を捜して、そこを基点に生きたい……ってやってるのがその時以来の僕のテーマ、僕のオートバイの世界ですからね。

最終的に実行を決めたのは、いつ。

風間 昨年の2月です。レゾリュート(カナダの北極圏の村)でTYを使ってテストランしてみても「ヨシノ、やろう」ってやるって決めて本気で動かなくちゃ、いっしょになってもできませんよ。

そして、バイクにTW200を選ばれた。

風間 その時のテストで、北極に行くバイクは、それなりに作らなけりやダメだと思っただけです。メーカーの力を借りて、だつて氷点下40度、50度という寒い所を走り、しかも超軽量のバイクなんて、自分たちで改造して、という範囲じゃない。リヤタイヤもなるべく太くしたい、18cmぐらい。なんてやってたらTW200が18cmだった(笑)。

まあ、それと森永さん(森永国彦・ヤマハ発動機取締役・モーターサイクル本部長)、あの人との出会いがなかったら今回のことは語れないね。彼の情熱がヤマハを動かし、ヤマハもわれわれと一緒に冒険やってくれたわけですよ。事実TW200改だつて40日足らずで作ってくれたわけですから。

仕上がりは、いかがでした。

風間 正直いって、驚くほどよかったです。ビックリ。ものすごく注いでくれたからね。気持を。あのTW200改には、部品メーカーの人まで含めて千人もの人た

ちの気持が込められているんですよ。時間とか、労力とか、お金なんか抜きにして「自分たちの作ったバイクが北極点に到達してくれればいいんだ。風間の男心ってどうか、挑戦する気持に賭けるんだ」って作ってくれたんですからね。やっぱり、僕は人間の代表という気持で、みんなの思いを感じながらTWに乗った。同時に、それ以外の面でも僕を支えてくれたものすごく多せいの人がいた。その頂点に、僕のたったひとつのか細いトール(軌跡)があり、TWを走らせていたわけで、その裾野は本当に大勢の人たちに支えられていたんです。

TWについていえば、90kgジャストの車重も、トルクもパワーも、本当にベストでした。

苦しかった

雪の中のスタックの連続

—— 走行中の様子をちよつと説明していただけますか。

風間 隊列は決まっています。先頭にソリを引いたスノーモビル。これにナビゲーターを務めたイヌイットのおココさんと関崎(健弘)さんが乗り、その後に僕がつく。最後にデービッドさんとカメラマンの佐藤(秀明)さんのスノーモビルがつ



氷原の走行は一瞬の油断も許さない。「1cmでも前に行くことだけを考えて進んだ」

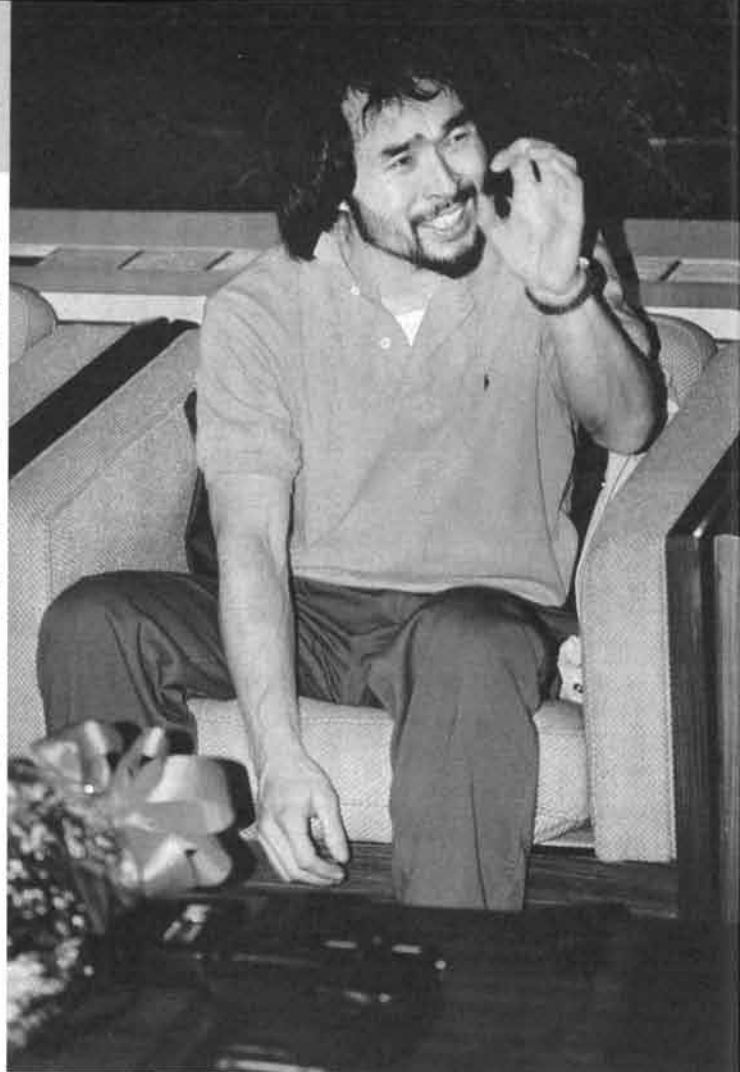


モーターサイクル100年の歴史に「初の北極点到達車」としてその名を刻んだヤマハTW200改

づくんです。

ところが隊列といっても、これが大変。TWとスノーモビルじゃ走れる場所がちがうんです。乱氷帯、乱氷帯っていうけど、あんな所スノーモビルやソリは通過するのに2時間もかかって作業するけどTWは5分もあればスイスイ行っちゃう。反対に、スノーモビルが楽らくの大氷原、これがTWにとっては大変なんです。ものすごく雪が深く埋まってしまふ。それでもスノーモビルはどんどん行っちゃう。どんなにがんばったって姿見えないんだから、本当に泣けてきた(笑)。

北緯88度を越えても、すっごいんですね。雪が、あんな中でスタックしたら、レスラーや相撲とりが押しつぶされて簡単に動かないですよ。ああいう寒い中で、バイクを走らせるって、とても大きな運動量があるんですね。極寒の中で汗びっしょりになって、ちよつと休むとバリバリに凍っちゃう。とにかく押しつぶされる最中は心臓がハレツするくらい苦しい。そのくやしさを何にぶつけたらいいのかわからないわけですよ。誰れのせいでもないんだから、空押して涙するしかないわけ……。それを支えたのが、先ほどおっしゃっていた。裾野にいる大勢の人たち……。風間 それですべてですね。TWはうま



くで上がった、こりゃ見るたびに感動する。カッコいいなあーって。苦しいんだよヤツも、ものすごく。もうホントに苦しんで焼付き寸前。ギョウギョウやってTWの苦しさと僕の悲鳴がびったりあうの、あとひと吹かして焼きつく、そこで僕の息も切れるわけピタッとね。しばらく休んで、また……この連続ですからね。それと、僕は自分以上に大切にしているのがバイクなんです。だからTWの面倒はすごくみたゾー、我慢じゃないけど。その日の行程の終りが9時だろうが、11時だろうが、みんなはすぐテントに入るけど、僕は1時間半は、毎日必ず整備してた。どんなちっちゃな氷のかたまりでも全部とらないと気がすまない。翌朝は、バシッと整備されたTWで、ワーツと出ていきたいわけ。500mと行かないうちに、また氷だらけになっちゃうのね(笑)。だって今岡さん(今岡亮・TW200改プロジェクトメンバー)たちが、大変な努力してくれてるわけですからね。

——整備の面で一番苦労されたのは、どんな点ですか。
風間 エアクリーターの中が、毎日雪で満タンになっちゃうこと。当然エンジンは吹けなくなっちゃう。吹けないからスビードも乗らない、だからTWは雪に埋まる一方。1日に何度もシート外して、クリーターにたまった雪を取ってた。そんな作業って大変なんです。それが、32日目にやってやっと対策が完成したんですよ。嬉しかったなあ。追い込んで追い込んで、ひとつひとつ加工していったね……。複雑すぎて説明できません。実物を見てもらうしか……(笑)
 ——途中、フロントホイールに特製のソリを履かせていましたね。
風間 オレはバイク乗りなんだから、ソリ付けるの渋ってたんですけど、後半すぎてきつすぎてたまらなくなつてね(笑)。あのソリで助かったんです。あれなかったら北極点はなかったかもわからない。あつても、まだ15日は余分にかかっていただしようね。

奥秩父の林道に帰って、つぎの夢を

北極点に立った時の感想といまの気持ち。
風間 北極点に着いたときは、とにかく長い44日間が終わった、やっと日本に帰れる(笑)それが最高だった。いま思うとすごくいい体験した、という手応え、充実感がありますね。少なくとも自分が雪の中で泣けたもの。ああいう一瞬が大切なんです。瀬戸際に追い込まれた自分が、そのギリギリの瞬間に感じる自分自身。自分が生きてくることすべてを感じた気がした。
 ——最後に、応援してくれたみなさんにも、ひと言。
風間 おかげさまで、できました。僕がなんで北極点に行ったかってことの中には、自分が惚れ込んでるバイクを、違う目で見える人がいたら、そんな見方をちょっと変えてもらいたい、という部分のひとつ。それとバイクの持つ可能性や夢の素晴らしさを表現したかったです。だから、販売店のみなさんにも、もつ



めざせ北極点、TWのクリーターカバーには、開発スタッフたちの熱い思いが彫り込まれていた

風間さん、おめでとう!
 「本当によくがんばってくれた。世界の人びとにチャレンジ精神のすばらしさを身をもって示してくれた、風間さんの不屈の精神に、心から拍手を送りたい」(森永国彦・ヤマハ発動機取締役・モーターサイクル本部長)
 「歴史に残る快挙のお手伝いできたことは技術者として莫大に嬉しい。一度夜の明けるまで語りあいたい」(南俊治・TW200改プロジェクトリーダー)
 「低温技術、超ワイドタイヤに関連したエンジンの耐久性、軽量化、それにわずか40日の開発時間……などがTW200改で苦労したところ。でも、良かった！」(今岡亮・TW200改プロジェクトメンバー)

と胸を張って売って欲しい。惚れ込んだバイクをね(笑)。バイクに惚れてなきやイヤだね。
 乗る人には、自分の夢を追求して、バイクに乗っていいよだったという体験をさぐって欲しいですね。
 僕自身、子供の頃感じたバイクは、それに乗ることによってスーパーマンになれる、という素晴らしさだったけど、今はちょっと変っていて、バイクというものに打込んでいく、惚れ込んでいく自分自身のパワーが、自分を前に進ませていく活力、生きがいになっている。その力はバイクに惚れ込むことによつて、バイクが与えてくれるもの。だから自分に思い込みや、情熱がなかったら何も得られない、そういうものでしょ。僕の場合は、惚れ込んだのがバイクだったけど、それは何んでも同じ。だから何でもいいんですよ入口は。講演会に行ったら、おばさんたちにまた言うんだ、もっと大きな声で、対象はなんでもいいんですよ。つてね(笑)。
 ——まだまだアドベンチャーは、つづきますね。
風間 いろいろ夢はあるけど、ひとまず奥秩父の林道で、太陽の光を浴びながら、ちよつと戻って考えたいですね。

お店は、遊びの仕掛人 お客さまに大好評の

うちのツーリング・プラン大公開

このうつつらしい梅雨があければ、一年中でも一番のツーリング・シーズンの到来。北から南から「チャレンジ3000キロ完走」のお客さまが、ぞくぞく名乗りを上げてくることでしょう。そこで今月は、すぐにご活用いただけるツーリング・プランを大特集。全国の販売店さんに、ご自慢のプランを公開していただきました。これらを参考に、お店でもこの夏のステキなツーリングをご計画ください。

1 組み合わせいろいろ、楽しさ無限大 ツーリングに「遊び」をプラス

操ることそのものに無上の楽しさのあるバイク、これにさらなる楽しさをプラスしたら——バイクを使ってスポーツを楽しむに行く、バイクを使って名勝や温泉を巡る、バイクを使って味覚を楽しむに行く……バイクを移動手段にしてもうひとつ別の楽しみをプラスしてみると、そこには想像以上に大きな遊びの世界が広がっています。そこで、まず最初は、そんな走りにもうひとつ遊びの要素をプラスしたツーリング・プランからご紹介しましょう。

「たまには家族ぐるみで楽しもう」 運動会ツーリング

ことしオーブン3年目を迎えた栃木県内の「YSP宇都宮東」(小林祥六店長)さんでは、年に2回、春と秋の恒例イベントとして「ビッグツーリング」を開催し

ています。

このツーリングの最大の特長は、ライダー以外の人でも参加して楽しめること。その名のとおり120台ものバイクが参加するので、そればかりではありません。バスやクルマに分乗してライダーの友人や家族も同行するのです。そして、目的地で待っているのは特製のパーベキューパーティと趣向をこらしたゲームの数かず。

この4月19日に福島県の猪苗代湖で行なわれた第5回ビッグツーリングでのメニューを見ると、なわ飛び大会、5人6脚、景品抽選会など、年齢や性別を問わずに遊べる楽しいゲームがもりだくさんで、まさにミニ運動会ともいえる内容となっています。これなら一緒に参加した家族に大好評なもの当然。休日といえばバイクに乗って出かけてしまうバイクフ

勝運動会、勝皮ツナギを着ての、勝手が違うので思うようにいかないところが、また楽しい



一度に120台ものバイクが集まるYSP宇都宮東さんのビッグツーリング。初回は色いろと気を使うが、定期的に続けると人数の割に手間もかからないとか



は交通事故。これを防ぐために全員が一緒に行動するのではなく、10名ぐらいずつの班単位に別れて走るようにしています。班は乗車経験などを基準にしてこちらで構成し、リーダーとサブリーダーがそれぞれついて、交通状況に合わせた走行の指示をしています。もちろん出発前にはリーダーだけで走行方法やコースなどの綿密な打合わせをしておきます。

それに、大勢で走るときは地元の警察にも一報を入れておくと、色いろと面倒を見てもらえるし、トラブルも少なくて済みますね」

こんな目に見えないところの努力もあって現在まで事故はゼロ。せっかくの楽しいイベント、交通安全には充分気をつかいたいものですね。

誰にでも喜んでもらうには、

味覚が一番、

「食べるんだツーリング」

スポーツのあとは食欲。最近、食道楽のことをグルメと呼び、グルメブームなどときにぎやかですが、グルメだと豪華な

リークのお父さんとも、この日ばかりは思いきり遊べるといってわけです。

このツーリング開催の要点を、小林店長にうかがってみました——「一度に大勢で走るため、一番心配なの

積丹ウニ井ツアーのひとコマ、グルメが目的だと女性の参加者も格別多い



食事でお金もかかりそう。そこで「少ない予算で楽しめる味覚を求めてツリーングに」とガンバっているのが、大自然の味の宝庫・北海道で商売をする「YS P札幌南」(長島忍社長)さん。
「食事は大勢の方がグンセン美味い」というわけで、このツリーングの特徴は誰でも参加できるように会費がきわめて安いこと。これまで2回ほど実施されていますが、どちらも会費は1000円ちょうど。この予算で美味しいものを探すのは、いくら北海道でもちよつと難しいところですが、そこがスタッフのみなさんの腕の見せどころなのです。

もじつて、どーや行かんか!? ツリーング。タイトルのユニークさも楽しさを演出するひとつの要素です。この時の参加者はあいにくの雨にもかかわらず30名。味覚をテーマにする女性の興味も格別で、内7名は女性ライダーです。
朝7時に店頭が集まったみなさんは一列になって定山溪、昭和祈山などを見ながら洞爺湖へ。ここで北海道名物のパーベキュー料理「ジンギス汗」を楽しむのですが、食事を共にするのはコミュニケーションの促進にも大いに役立つよう、会話は手を持つおハシ同様にすすみます。食後は湖上でのボート競走も予定されていましたが、この日は雨で中止。そしてこの後に開催された「積丹ウニ井ツアー」も大好評でした。

梅雨になやむ本土とはうらはらに、いよいよ本格的なツリーングシーズンを迎えた北海道。短かいシーズンとあって「今度は何を食べに行こうか」と、ただ今楽しい企画進行中の「YSP札幌南」さんです。

ライダーとの相性もバツグンの「温泉ツリーング」

さて、次にご紹介するのは、おなじみ「温泉ツリーング」。秘湯ブーム、温泉ブームなどといわれ、若い女性グループが大挙して温泉に出かけていくご時世ですが、もともとツリーングファンにとって温泉は格好の目的地。ライダーの疲れを露天風呂でいやす、などというツリーングは、かなり以前から楽しまれていた、ポピュラーなもの。

全国に数多い、温泉ツリーング派(?)を代表して愛知県豊明市の「南オートサ

イクルセンター・オオヤ(大矢政雄社長)さんの活動ぶりをご紹介しましょう。

同店で温泉ツリーングが開催されるようになったキッカケは、温泉好きなお客さんのひと言から。今でも中部から近畿一円の温泉地に詳しいこのお客さんが中心となって、3ヶ月に1回のペースでツリーング企画が練られ、温泉めぐりが行なわれています。

オオヤさんの温泉ツリーングはアゲルトライダーの参加が多いことから、名所旧跡を訪ねながら目的の温泉地に向かう、至ってポピュラーなもの。オフロード車を使って山奥の秘湯を訪れる、などという前に、まずは無理をせずにジックリとお湯を味わってみようという、目的に忠実なツリーングが実施されています。

5月1日に行なわれた和歌山県の川湯



観光地巡りもツリーングの楽しみ



お湯につかれば1日の疲れも一発で解消、ヤングにもウケそうです

温泉へのツリーングも、熊野神社に参詣したり、奈良見物を楽しんだりの1泊2日の優雅なもの。大矢社長も「お湯にゆつくりとつかり、日頃の疲れをとるのも最高。またその後の、ささやかな宴会も楽しいですよ」と満足そうに語っています。

以上ご紹介したものの他にも、この夏のモータースポーツのビッグイベント「スズカ8時間耐久レース」やSUGOの「TTF1世界選手権レース」への「観戦ツリーング」をはじめ「みかん狩り、いちご狩りスクーターツリーング」などの手軽なものから「富士山頂アタックツリーング」などの大規模なものまで、この「走り遊びをプラスしたツリーング」には、全国の販売店さんからも、もりだくさんのプランが寄せられました。この夏こそ、お店でも走りに、ちよつとした工夫をプラスしてみたいかがですか。そのアイデアをお客さまと一緒に考える、それもこんなツリーングならではの楽しさです。

楽しみながらテクニクニックのマスターも ツーリングに「レックス」をプラス

次に紹介するのは、最近オフロード志向のビギナーや女性ライダーの間で好評を呼んでいる「レックス」付ツーリングです。

販売店さんによるライディング・テクニクの指導は、お店の「信頼」に直結する大切な要素。地域性やお客さまの特性にあわせて、ミニYRSやオフロードYRSなどを定例開催されている販売店さんも増えていますが、ツーリングの楽しさを一気に倍増させる方法としてツーリングにこうした「ライディング指導」や「ライディング教室」的要素を盛り込み、好評を博しているお店も少なくはありません。

林道ツーリングの一部に「ライディング教室」の要素を組み入れたり、あるいは「オフロードYRS」そのものを実施する。また、ビギナー対象のオンロードツーリングの途中で、市街地走行やワインディングロードでの「より安全な走り方」をアドバイスする——そんなキメ細かなツーリングの企画が、静かな人気を集めているようです。

実践主体の

林道ツーリング

神奈川県平塚市でご商売する「ホリデー・バイク」さんが定例開催している「林道ツーリング」は、そんな「ライディング指導」を兼ねたツーリングの典型。月2回、すでに8年、通算200回も開かれているという人気企画の概要はこうです。

準備は連続120kmのダートに耐えられるマシン整備と体調を整えておくこと。当日は朝6時30分にビギナー組が店頭集合、ツーリングの出発点となる富士山麓は浅間神社駐車場へ向かいます。ここで現地集合しているベテラン組と合流です。

そして8時10分、参加者の顔ぶれを見ただうでその日のコースを決定して出発。走る順番は臨機応変で初心者ライダーが



月2回、富士山麓の林道ツーリングを定着させる「ホリデー・バイク」のみなさん

「ホリデー・バイク」さんの林道ツーリングには毎回8～10名が参加

林道ツーリングでは途中こんな「実践指導」も……。



取り残されないようベテラン組が何名か最後尾を走りますが、これも長年続けているので自然と隊列が決まるとか。こうして約120kmの富士山麓のコースへスタート。およそ5時間の行程です。

「オフロード走行は理屈よりも「走り込み」。身体で覚えるのが一番。走ることの楽しさ、道を征服することの満足感が味わえるという部分だと思います。実際、ビギナーの方は前を走るベテランの走りを見ながら、自然にテクニクを身につけていくんです。

もちろんビギナーの中には、転倒が多くてもう次は参加しないだろうな、なんて思われる方もいらっしゃいますが、そ



んな方に限って必ず次のツーリングにも顔を出してくれます。形どおりのスキルとはまた違って、楽しみながら自然に技量アップを図れるツーリングです」

お店の富士唯志さんと須田正俊さんのこんな言葉を裏づけるように、いまや月2回のこの「林道ツーリング」には毎回8～20名の方の参加が、定着しています。

林道ツーリングに 「オフロードYRS」をプラス

一方、林道ツーリングのスケジュールの中に、「ライディング教室」を組み込んでお客さまからの好評を得ているのが「YSP浜松」さん。和田茂営業部長はこう話されています。

「つい先日、4月15日にも店から15分の天竜川河川敷でオフロードYRSを開催しました。オンロードのお客さまを中心に参加者は16名。バイクの乗り方の基

特集

お店は、遊びの仕掛人
お客さまに大好評の

うちのツーリング・プラン大公開

本がわかった」と好評で、新しいオフのお客さまが2人増えました。
ところで、オフロードYRSがオンロードバイクに乗っている方を対象にオフの世界をアピールするイベントだとすれば、林道ツーリングはすでにオフに乗っている方を対象としたイベント、だと思っ
ています。うちでは天竜スーパー林道をまわる往復150kmのコースで年2回のペースで開催していますが、最近はこの林道ツーリングの中に「ライディング教室」をプラス。林道コースの中ほどにある広いスペースを利用して、ライディングの基本を身につけてもらっています。時間は30分から1時間と短時間ですが、参加者からはとても好評ですよ」

林道ツーリングの中で、ライディング教室も開催。YSP浜松さんのお客さまたち



レディスツーリングでワンポイントレッスン

オフの話題が続きましたが、3番目にご紹介するのは、女性ライダーだけのツーリングの話題。伊豆箱根のワインディングロードを組み入れた往復180kmのツーリングの中で、インストラクター役が前を走ったり後ろを走ったり、またワンポイントアドバイスをしたり……そんな中で、女性ライダーの「不安」を一気に吹き飛ばしたという事例です。神奈川県は藤沢市「YSP藤沢」の山本俊彦社長にお話を聞いてみました。

「女性のスポーツユーザーが増えるにつれて、女性の方からライディングに関する疑問や不安の声がずいぶん聞かれるようになったんですね。店でそうしたことが話題になれば、色いろ図解などして説明しているんですが、実際どこまで彼女た

女性スポーツユーザーのための、乗り方指導ツーリング。右端が「YSP藤沢」山本社長



ちに理解されているかはわかりません。彼女たちの言葉を聞いてもそれは同じ。それなら一緒に走ってみようというところで富士⇩伊豆⇩熱海と180kmの「ワンポイント・レッスン付レディス・ツーリング」を企画。その案内DMを、ここ2年間の250cc以上の女性スポーツユーザーに出したんですが、今回のツーリングには8名が参加しました。私が彼女たちの前を走ったり、あるいは後ろを走ったり、またひとりひとり同じコーナーを走ってもらってそれぞれにアドバイスし

てあげたり……。 たった1日のツーリングとそれまでのワンポイントレッスンですが、参加者からは「とても走りやすくなった」と大好評。実際、下りのコーナーでふらついたりする方もなくなりましたよ」というわけです。
ちなみに「YSP藤沢」さんでは、このワンポイント・レッスン付のワンデー・ツーリングがきっかけとなって、「YSP藤沢レディスクラブ」まで、発足することになっていきます。

目的地で何かにチャレンジすることが大切

●YSP徳島西／戸田勝社長／徳島市庄町

徳島市庄町の住宅地で二商売する「YSP徳島西」さんでは昨年6月からお店のクラブ「WINTERツーリングクラブ」を発足。現在約40名のお客さまが入会されています。

またYESSスタッフも60名以上を数え更新率は100%。

「単に目的地へ行くだけのツーリングではやっぱり淋しいですね。目的地に着いたらそこで何かにチャレンジすることがツーリングを楽しくする大きなポイント。うちでは毎年夏にキャンブツーリングを実施していますが、これも目的地でキャンプやゲームなどでしょうか遊びに力を入れた企画として考えています。賞品も最高。日本一の豪華商品を出しますよ。」

また最近では5月31～4日にYSP香川さんとの共催で鳥取は山陰海岸まで地引き網ツーリングを「チャレンジ3000km バイクビレッジ川鳥取」として開催。往復500kmのこの一泊ツーリングには45名が参加してくれました。あ

いにくの天候で地引き網こそできませんでしたがでも、何かにチャレンジするツーリングこそ、いまのスポーツバイクのお客さまのニーズだと思っています」



3 バイク・オリエンテーリングやバイク・ラリー ツーリングをゲームとして楽しむ

さて最後にご紹介するのは、ツーリングそのものを「ゲーム化」して楽しむ、バイク・オリエンテーリングやバイク・ラリー。じつはこれ、さまざまな理由で、販売店さん主催のツーリングに参加しきれないお客さまを呼び込むのにも、とても効果的なのです。

ゲームの楽しさで、新しい顔ぶれを呼び込む

「店のツーリングを継続的に開催すればするほど参加する方が限定され、新しい人が増えない。そこで、何とか工夫して新しいお客さんを引き込めるようなツーリングにできないものか、と考え出した

のが「オリエンテーリング」なんです」と語るのは「YSP八王子東・高橋博社長。

これと全く同じ話を愛知県安城市の「モトハウス21st・山崎伸男社長からもうかがいました。

「うちでも4年前から毎年秋に、50名ほどのお客さまを集めて「ツーリング・ラ



お店のスタッフとコース図を前に5月に行なわれた、バイク・オリエンテーリング・ラリー」を語る「YSP八王子東」高橋社長（上・左）右は当日使用されるコース図とチェックシート

リー」を開催しています。これを始めたのは、毎月行なっている定例ツーリングに参加するお客さまの間から「いつもただのツーリングじゃつまらない」という声が上がってきたこと。それじゃどうしよう？ って、お客さまと一緒に考え出したのが、この「ツーリング・ラリー」なんです。

このように「周辺のコースや目的地も走り尽くした。確かにウテは上達したけど、いつも同じ顔ぶれで新鮮味がない」と、常連の参加者の方がたからは思われ、逆にまわりのお客さまからは「常連ばかり、ベテランばかりでとても初心者には



▲走行は100～150km、安全デス。参加呼びかけは、この店頭ポスターとDMで

◀ごらんのような立派なトロフィーも用意される

ツーリング ア・ラ・カルト

YSPツーリング

「YSPイコールドMP12レース、のイメージをうち破ろうと、3月に18台で三浦半島まで行ってきました。沿道の人たちのニコやかな表情、GSの人たちの歓迎の拍手、みんなYSPならではの、ですね。ミニトレ全盛時代うちの人気企画だった50ccツーリングがYSPで復活。中・大型ユーザーも「一生懸命走った気がする」って大満足です。ぜひ、8月のサマーフェスティバルも、YSPツーリングで行きたいですね（YSP足立中央・山崎敏雄社長／東京都）

毎週ツーリング

「オンとオフが毎月1回づつ、YSPで3カ月に1回の店のツーリングを開催、これにお客さまの自主ツーリング大会（店がサポート）を加えると、うちでは、毎週日曜日がツーリング大会」というほど頻繁にツーリングを行なっていることになりました。

オンロードは国道を使わないルート探し、オフは林道ツアーとトレッキングツアーの細分化、それに最近始めたYSPツーリング、みんな豊富な実体験から生まれたもの。また参加費の一部で、お客さまが共有で使える工具やキャンプ用具も揃えました（YSP春日・岩崎昌幸社長／福岡市）

スクーターツーリング

「スクーターの女性ユーザーを対象に、この1月から運転技術の向上、走る楽しさの発見、自分たちの土地の周辺探訪を目的にした、スクーターツーリングを始めました。好評に応えてもつが第2弾「自然動物公園ツーリング」を企画中です。往復100キロほどのピクニックツアー。走る楽しさを知り、ユーザーの輪が広がって、永くスクーターに乗ってもらえれば、願ってもないことですね（YSP上福岡・南次郎社長／埼玉県上福岡市）

参加できるようなものじゃない」と思われていたお店のツーリングのマンネリ打破に、きわめて効果的なのが、こうしたゲーム・ツーリングのようです。

「下は16才から上は40代、50代の方まで、バイクも原付から750まで、以前のツーリングでは考えられなかった顔ぶれが揃うんです」「1人のお客さんが、次回は必ず何人かの仲間を連れて来てくれるんです。それでお客さまの輪が広がり、紹

季節の味覚を求めてのスクーターツーリングが好評です

●オートセクターミヤシタ(宮下良二社長/広島県呉市)

造船不況のあおりを受けて人口が減少している23万の人口も5年後には18万になると見込まれている広島県呉市。

しかしそんな中で昨年は対前年比130%と確実にスクーターの二商売を拡大させているのが、オートセクターミヤシタさん。そして、スクーターのお客さまの人気を集めているのがシーズン毎の味覚ツーリングです。

「うちでは7年前の創業以来、春、夏、秋と年3回スクーターツーリングを実施しています。イベントにはムダな経費をかけずに手づくりでいくというのが店のモットーなんです。このスクーターツーリングにも季節ごとの味覚を盛り込んでいます。

春は近くの桜の名所、正福寺へお花見ツーリング。夏は湯坂温泉郷へイチゴ狩りツーリング。秋は甲由町へ梨狩りツーリング。イチゴ狩りも梨狩りも入園料は1000円前後で食べ放題。そして各自おへんどう持参で来ていただきますので何ととっても経済的でファミリーな雰囲気

が魅力。主婦の方を中心に、スクーターのお客

介販売にもつながっています」という声も、前出の2店さんから共通して聞かれたものです。

知らず知らずのうちにツーリングの楽しさを……

では、実際にこの「バイク・オリエンテ」や「バイクラリー」は、どのように行なわれているのでしょうか。具体的に2店のゲーム内容をうかがってみました。

YSP八王子東さんの場合

- ①タイトル…YES Sチャレンジ3000キロ・バイクオリエンテラリー
- ②参加費…YES S会員500円、一般2500円
- ③ゲーム内容…スタートとゴールは店頭。1分おき2台ずつスタートし、チェックシートに定められたチェックポイントを回る。各チェックポイントでは、クイズが題されそれに答える。成績は、クイズの正解と走行時間・コースの両方で決まる。走行時間・コースはラリーのようにあらかじめ設定されたベストタイム・ベストコースに近い人が上位となる。

「この5月に行なった時は、コースの設定に2カ月もかかってしまいました。普通のツーリングコースとしても相当いいな、と自負しているんです。

もちろん基準となるベストタイムとコースは、交通の流れに乗ってキープレフトで安全に走った時のものです。追いついたりするとそれだけで走行距離がオーバーしてマイナスになります。

それとチェックポイントでのクイズが楽しい。「俳人・高浜虚子の句に使われている鳥はナニ？」なんて具合に、名所を訪れ、そこにまつわる問題にしてある。歴史などもイヤでもわかってしまう。このイベントを通じてこの土地の歴史を知り、良さを知ってもらったり、地図を読む楽しさを知って、どんどんツーリングに出かけるようになってもらえれば、願ってもないことです。そんなわけで

うちでは今年あと3回、バイクオリエンテラリー・ラリーを予定しているんです(高橋社長)

モトハウス21stさんの場合

- ①タイトル…ツーリング・ラリー
- ②参加費…1500円
- ③内容…スタートとゴールは店頭。30秒毎に1台ずつスタートして、3カ所のチェックポイントを巡る。

第1チェックポイントでは、クジ引きで課題が与えられる。(ぬいぐるみを背負って第2チェックまで走る、など)第2チェックポイントでは、昼食をかねた懇親会。そして第3チェックでは、コースの誤りの有無の確認

「定員50名と決めて行なっていますが、毎回新しい顔ぶれが見られるのが、お客さまが増えている証拠なのでしょうね。それとこのラリーの運営には、20人近い人が裏方として働いているのですが、そちらはツーリング常連派のお客さま。率先してゲームを考えたり、当日お弁当を運んだり、大活躍してくれています。こんな、運営役というのも、イベントのうちひとつの楽しみ方なんじゃないか。

それにしても、古いお客さんと新しいお客さんが、一緒になって楽しんでくれる、それがツーリング・ラリーです。そして、開催前にコースの下見、ゲーム内容のセットアップに十分に時間をかけ、ゲームをしながツーリングの楽しさを理解してもらえようにするのか、ツーリングというの、高橋社長、山崎社長の共通した声でした。



さまにとつては、たくさん走らせて気持ちよしが出来る」と評判も上々。スポーツのお客さまもこのツーリングには家族づれ(クルマ)で参加してくださいますから参加者の年齢層もグッと広く0歳から70歳まで。募集はいつも口コミですが、毎回40名は集まります。

特集

お店は、遊びの仕掛人

「チャレンジ3000キロ達成！」を合言葉に

さまざまな夏のツーリング・プランを！

さて最後にご紹介するのは、この夏のお店のツーリング・プランにぜひ活用いただきたいお客さま注目のイベントのかすかす。チャレンジ3000キロ達成！を合言葉に、これらイベントを効果的にとり入れたお店ならではの企画で、お客さまにどうぞこの夏最高の思い出をプレゼントしてあげてください。

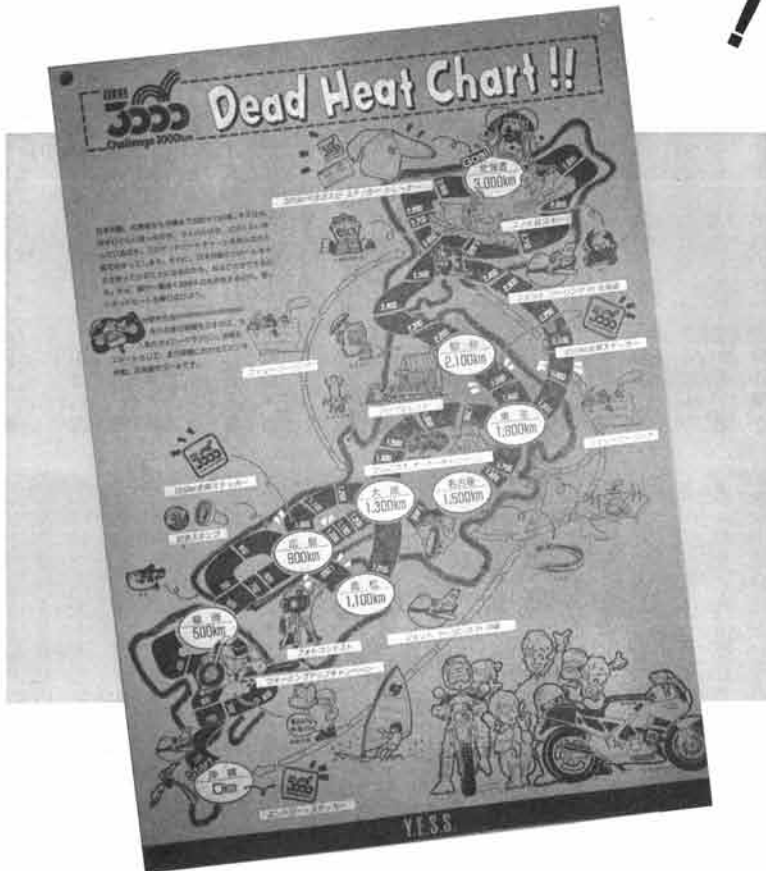
1 すべての道は

チャレンジ3000キロへ通じてる！



も一十名を突破するに至っています。

そして、この「チャレンジ3000キロ」キャンペーンが、クライマックスを迎えるのが、7月～8月のツーリング・シーズン。ご承知のとおり、87年のY.E.S.S.イベントのすべては、この「チャレンジ3000キロ」へのバックアップメニューとして開催されているのですが、この夏のお店の活動も、ぜひこの「チャレンジ3000キロ」キャンペーンの一環としてご計画ください。そして、この機会にエントリー・ユーザーの拡大、Y.E.S.S.スタッフの増大をどうぞ積極的にお願いします。お店のツーリング・プランに「チャレンジ3000キロ」のタイトルがプラスされるだけで、お客さまの期待は、何倍にもふくれあがっていくのです。



2 『チャレンジ3000キロ87Y.E.S.S.サマーフェスティバル』

全国10会場で大規模に開催

今年1月からスタートした「チャレンジ3000キロ」キャンペーンは、4月末迄に、全国約2500店のY.E.S.S.ショップさんから、一万5千人にのぼるスタッフのエントリーを集めて盛大に展開され、3000キロ完走（スクーターの1000キロ完走）のお客さまも、早く

恒例のY.E.S.S.の祭典・サマーフェスティバルが、ことしも全国8ブロック、10会場でにぎやかに開催されます。さまざまなイベントを楽しみながら、地域のY.E.S.S.スタッフやY.E.S.S.ショップ



3 速い、安い、便利 北海道へは、ジェットで、フェリーで



ツプの交流・親睦をはかるサマーフェスティバル。バイクビレッジ+サマーフェスティバル、などこのYESSの祭典にお店独自のプランをプラスして、この夏のツーリングのメインイベントとされてはいかがでしょうか。日頃おつきあいの少ないお客さまの家族まで含めて、大勢で楽しむ最高の機会です。

なお、各ブロックのサマーフェスティバル内容は本誌次号で紹介いたします。

梅雨のない北の大地、ツーリング・パラダイス北海道へのビッグツーリングを企画中のお店やお客さまも多いことでしょう。今年も、ミツパチ族が、にぎやかに飛びかう北海道へのツーリングなら、なんととってもYESSならではのおトクな方法「ジェットツーリング・イン北海道システム」「フェリーツーリング・イン北海道システム」をご利用ください。

これらはいずれも、従来ツアーとして開催していたものをお店やお客さまのご都合にあわせて、いつでもご利用いただけるようシステム化したものです。

ジェットツーリング・イン北海道システム

▶実施：'87年4月28日～10月11日の期間

▶出発：羽田、大阪、福岡 ▶旅程：1泊3日～1泊7日

▶費用

出発	400cc以下	401～750cc	751cc以上	タンデム者
東京	75,000円	85,000円	92,000円	50,000円
大阪	105,000円	121,000円	128,000円	67,000円
福岡	130,000円	151,000円	159,000円	80,000円

*上記料金には往復航空運賃、バイク航送代、1泊宿泊代、保険料が含まれます。但し7/24～8/23の出発に関しては12,000円の割増料金となります。なお8月のお盆期間中は帰省客優先のためご予約はお避けください。

フェリーツーリング・イン北海道システム

一方、大型フェリーを使って、ゆったりとした船旅を楽しみながら北海道へ、という方がたのためにYESSでは阪急

チャレンジ3000*。'87 YESS サマーフェスティバル スケジュール

地区	名	称	月	日	会	場
北海道	サマーフェスティバル	イン北海道	8	11・12	ルスツ高原・HSP・洞爺湖	
東北	サマーフェスティバル	陸中	7	18・19	岩手県九戸郡野田村国民宿舎五ヶ荘	
関東	サマーフェスティバル	山形県折上湯の台(湯の台高原)	7	25・26	山形県折上湯の台(湯の台高原)	
中部	サマーフェスティバル	インSUGO	8	11・12	スポーツランドSUGO	
関西	サマーフェスティバル	インFISCO	8	11・12	FISCO	
中国	サマーフェスティバル	員弁	8	9	ヤマハスポーツランド員弁	
四国	サマーフェスティバル	関西	8	11・12	グリーンピア三木	
九州	サマーフェスティバル	イン大山	8	11・12	大山国民休暇村	
	サマーフェスティバル	イン四国	8	11・12	久万高原ふるさと旅行村	
	サマーフェスティバル	イン九州	8	11・12	スコール菊池高原	

コース	E		D		C		B		A			
	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り		
(新日本海フェリー)	敦賀→小樽	小樽→敦賀	(太平洋フェリー)	仙台→苫小牧	苫小牧→仙台	(太平洋フェリー)	名古屋→苫小牧	苫小牧→名古屋	(日本沿岸フェリー)	大洗→苫小牧	苫小牧→大洗	
東京→苫小牧	●23:00発	●翌日6:45着	●18:30発	●翌日10:30着	●18:30発	●翌日12:00着	●23:45発	●翌日19:00着	●11:45発	●翌日19:00着	●23:30発	●翌日6:45着
東京→苫小牧	●翌日17:00着	●翌日17:00着	●翌日10:30着	●翌日12:30着	●翌日12:00着	●翌日12:30着	●翌日19:00着	●翌日20:00着	●翌日19:00着	●翌日19:00着	●翌日6:45着	●翌日6:45着
便数	週4便	週4便	毎日運航	毎日運航	隔日運航	隔日運航	週3便	週3便	週4便	週4便	週4便	週4便
バック料金	¥16,300	¥16,300	¥18,600	¥25,000	¥29,000	¥29,000	¥19,900	¥28,300	¥23,400	¥23,400	¥32,200	¥32,200

- バック料金には、フェリー乗船代(エコノミー・2等/往復)、バイク航送料(全排気量対象/往復)、指定ホテル1泊宿泊代(夕・朝食付)が含まれています。
- バック料金の()内は、同乗者(タンデム)用の料金で、バイク航送料が差引かれています。
- Eコースのバック料金(※印)のみシーズンにより料金を変更され、7月21～8月31日のハイシーズンは¥30,800(¥17,800)となります。



8時間耐久にTTFフォー 観戦ツーリングにも最高のイベントが……

さて、ツーリングをかねて世界のトップライダーの走りを楽しもう、あるいはお店のチームから出場する選手を、みんなで応援に出かけよう——そんなレース



観戦ツーリングにも最高のふたつの世界選手権イベントが、この夏は連続して開催されます。

そのひとつは、おなじみの世界選手権第5戦・鈴鹿8時間耐久レース。今年はおもろく前25日の土曜日には、ノービスライダーの甲子園「ノービス4時間耐久レース」も開かれます。

そして、このスズカからちょうどひと月、8月28〜30日には、新装なったスポーツランドSUGOのインターナショナル・レーシングコースを会場に、日本で初のTTFフォーミュラ世界選手権第7戦・ジャパンラウンドが開催されます。市

販車ベースマシンによるロードレースの最高峰・TTFフォー世界選手権レースには、GPサーカスに負けず劣らずの強豪ライダーの参加も予定されています。

モータースポーツファンには見逃せない、ふたつのビッグレース。さあ、これをどうアレンジして、お店のツーリング・プランに組込んでみますか？ 特にみちのくスポーツランドSUGO周辺は、山岳ハイウェイ、温泉、名所、旧蹟などツーリング・スポットもいっぱい。お店のみなさんのアイデアだけで、千変万化の観戦ツーリングが楽しめることでしょう。

なお、『観戦ツーリングは無理だけど、

ぜひ観戦ツアーで……』という方がたのために、ヤマハ販売会社による観戦バスツアー等も、各地で企画されています。担当セールスマンにお問合わせのうえ、あわせてご利用ください。そしてサーキットでは、YES Sステーションに、必ずお立寄りください。大歓迎です。

さて、以上ご紹介したイベントやシステムの他にも、ビッグな海外ツーリングをご希望の方には、ヤマハの協賛による『第2回バリ島ツーリング』（主催・毎日企画センター、7月16〜21日、7月21〜26日）等も開催されます。また各販売会社・営業所等による手軽な『バイクピレージ』等も、この季節数多く開かれることでしょう。

どうぞ、担当セールスマンと十分に相談のうえ、楽しいツーリング・プランをご計画ください。



夢とロマン、そして冒険心。

チャレンジ3000キロ

私たちの計画を、応援してください！ 女性単車中国親善旅行隊

大阪の女性ライダーが、『女性単車中国親善旅行隊』を結成し、『チャレンジ3000キロ』キャンペーンに参加して、中国大陸3000キロの日中友好ツーリングに出発します。（7月出発、10月帰国予定）

YES Sでは、彼女たちのロマンあふれる計画を支援するために、販売店みなさまのご協力を得て、広く『応援カンパ』を実施させていただくことになりました。お客さまへの呼びかけ、どうぞよろしくおねがいたします。



※応援カンパは、『Y.E.S.S.テレホンカード・YZR500』（50度数）を1000円でご購入いただき、うち500円を支援金に充てさせていただきます。



※なお、『応援カンパ』店頭展開ツールとしてB3判ポスターを用意いたします。

〈日中友好・女性単車中国親善旅行隊・計画〉

- コース：大阪→上海→杭州→武漢→洛陽→西安→蘭州→西寧→張掖→嘉峪関→敦煌→喀什→吐魯番→伊寧→烏魯木齊→哈密→嘉峪関→蘭州→太原→大同→北京→上海→大阪

- メンバー：原千恵子（OL）
西岡里美（准看護婦）
藤原もゆ子（OL）
油谷あけみ（家業手伝い）
坂本紀久子（デザイナー）

フオローザ・トレンド

仕掛人に聞く、若者たちはいま

トレンド流行

おしゃれな文房具が売れています



■ステーションナリイ

最近ステーションナリイという言葉をよく耳にします。

英語では文房具、あるいは便箋のこと。しかし、日本語で文房具といえは50円のボールペンや2000円のノートの思い浮かべるのに対し、ステーションナリイと聞くとなんとなく気が取った、したがって1000円ぐらいはしそうなノートを考える、というほどの違いがあるようです。

■チーム・デミ

このようなステーションナリイ、いわばしゃれた文房具の登場は、二年半前の「チーム・デミ」発売に始まります。

チーム・デミは、ミニサイズの文房具セットで、ホッチキス、はさみ、巻尺、カッター、のり、テープ、ものさしが手のひらぐらいのケースに納められています。その一つ一つがオモチャのように小さいので、見た目にかわりやすく、持ち運びに便利、しかも小さいながらもちゃんと実用になるものばかりです。当時はこの商品を開発したのが、大学を出たての女性だったことも話題になりました。

■2年4カ月で2000万個

チーム・デミは1個2800円。文房具としては決して安くありません。それが、昭和59年12月の発売以来2年4ヵ月で500万個も売れたとのこと。年間30万個売ればベストヒットと言われる文房具業界では、まさにお化け商品と言えます。

当然、チーム・デミのメーカーである

プラスはもちろん、他のメーカーなどが競ってこの分野に乗り出してきました。

■業態にも変化

このような変化は、それを売るお店にも影響を与えています。

今、若い人が集まるお店をのぞくと気がつくことですが、これまでの業種区分におさまらない品ぞろえが多く、単純に「文房具屋さん」とか「洋服屋さん」という風には呼ばれません。

チーム・デミのようなステーションナリイが、ブティックにあつたり雑貨屋さんにあつたり、手芸コーナーにあつたりするわけです。

したがって、従来の文房具屋さんも変わってきました。新しい商品にあつた売り場作りをしなければ、若者にアピールできないからです。

■良いものは高くてもよい

いわゆるステーションナリイは、おなじ機能を持つ従来の文具に比べて価格が高い傾向があります。

チーム・デミに続いて発売されたプラスの製品を例にとると、ピエス・パー(ボールペンやシャープペンなど筆記具の5本セット) 1500円、ハーファタイム・クラブ(スプーンやナイフなど食器用品8点セット) 5500円、レタリア(皮表紙、バインダー式手帳) 1万1000円という具合。いずれも好調な売れ行きだそうです。

ここにも、同じ機能・同じ形なら安い方が良いが、気に入ったものは高くても買う、という若者の傾向がよく表われています。

フロー・ザ・トレンド

仕掛人に聞く、若者たちはいま

仕掛人

岩田彰二郎氏

プラス株式会社 商品開発本部
事務用品開発部部长

ダイヤモンドのよひで、 より多くの面を磨くと、製品は光ります。

■パートナーのイメージが大切

「サーキットでPLUSという文字を見なれていきますので、初めて伺ったような気がしませんが……」

「でも、レース場ではチーム・デミやハータイム・クラブなどを販売していますから、文具のイメージが強いんじゃないや

りませんか。当社は業務用事務器械の扱
いが多く、パーソナル文具との比率は8
割2割くらいなんですよ」

「そういえばカタカナの『プラス』は、
カタイイメージがありますね。」

「ええ。それが困るんです。一昨年から
ヤマハさんのスポンサードを始めた理由
の一つもそこにあります。チーム・デミ

〈岩田彰二郎氏プロフィール〉
昭和25年大阪生まれ。慶應大学卒業後
㈱ライオンに入社。営業からヘアケア商
品のプロジェクトマネージャー（研究開
発の責任者）になり、女性用化粧品等を
手がける。61年3月プラス入社、事務用
品の新製品開発を担当。

のようなパーソナル（個人的）な商品を
作っているのに、あまり固いイメージで
もいけませんかね」

「成果はいいがですか。」

「キッチリ測れるものではありません
で、効果が上がっていると断定すること
はできませんが、少なくともヤマハさん
をパートナーに選んだことは間違いではな
かったと思います。こういうのは、パー
トナーのイメージが大切ですからね。若
い層に支持される、独自の文化を持つて
いるところなどピッタリでしょう」

「積極的な評価は難しいと……」

「いえ、そういう意味でなく、測れないこ
とですから。現在はサブ・スポンサーとい
う立場なのですが、できればメインにな
りたいとは思っています。マシンを当社の
イベント会場へ持って来たりしたいです
よ。イメージの訴求をしていくためにも」

■ブームはいつたぐない

「ではこれからもお続けになりますか。
」はい。レースのスポンサードというの
は一見地味ですから、長く続けないと本



常時BGMが流れる㈱プラスのオフィス内には、こんなくつろいだ一角も。ここから自由な発想の商品がつつぎとぎと生まれる

「当の効果は出てこないと思いますしね」
「安心しました（笑）。ところで、チ
ーム・デミですが、大きなブームを巻き起
こして、それが今でも続いているよう
ですね。」

「私どもはブームという見方はしてい
ないんです。ブームって言うときぐ終わ
てしまいそうでしょ？（笑）そうではな
くて足を地につけて、良い商品を送り出
しているこう、そうすれば売れる、と。
たしかに500万個も売れていますか

ら、ブームという見方もできるでしょ
うが、チーム・デミは今でも月10万個ぐ
らは売れているんですよ」

「なるほど。その後もいろいろなヒッ
ト商品をお出しになっていますね。」

「お蔭さまで、ピース・バーは380万
ハータイム・クラブが25万、一番新し
いファクトリーが5ヵ月足らずで40万個
売れています」

■たくさんの価値を持つ商品

「ヒット商品の共通点は何でしょうか。
どこが若者にうけるんでしょう。」
「商品を開発する時は、特に若者向けと
は考えません。今のところ、結果として



若い人がたくさん買って下さっているんですけど。

うけている理由として考えられるのは、さまざまな価値を持っていることです。たとえばチーム・デミは、子供にとってはかわいい、サラリーマンにとっては便利、OLにとってはきれいで使い心地が良いという風に、いろいろな面を持っているわけです。

私もこれをダイヤモンドのブリリアンカットにたとえています。ダイヤモンドカットされた面がたくさんあるほど、またその面が磨かれているほど美しく輝きます。商品もそれと同じではないでしょうか。

—— 欲張り向けに作ればいいということですか。

「ウーン(笑)。そう言えるかもしれませんね。こういったパーソナルな商品を作り始めたのが、低成長時代に入って業務用事務器械が伸び悩み、それじゃあ個人用を、と考えてのことですから。

企業ですと、買う人、つまり総務の人は使いやすいや美しさより、丈夫さや価格を基準にします。ところが個人用だと使う人が選ぶわけですから、いろいろと注文がつくんです。つまり、使う人ごとにさまざまな価値が必要なんです。

そういう価値がいくつあるか、それがバラバラにはなく、一つの商品でどれだけ満たせるか、ということだと思います。」

■「かわいい」は「良い」と同じ

—— たくさん機能コンパクトに詰まっているのも、その一つですか。

「はい。でも、たくさん機能があれば

良いということではないと思います。たとえばファクトリーの場合は、開発途中でレタースケール——天びんで封書の重さを計るもの——もつけようかという案が出ました。形としては面白いし、あれば便利な気もしますが、これは事務室以外の所で役に立つ道具ですから、手紙を出すことは考えなくて良い、というのでつけませんでした。

—— こういう風にして商品を磨いていくわけですか。

—— 若い人がよく口にする。「かわいい」というのも大切でしょうね。

「彼らの「かわいい」は、自分が好きなもの」という意味と同じなんです。以前、若い女性にかわいいと思うものの写真をとって来てもらって分析したことがあります。自分にはふさわしい、機能がすぐれている、インターナショナルである、ブランド指向に合うなどの条件を満たしていれば「かわいい」ってなるんです。

—— ハハア、かわいいというのは「良い」ということですか。それならよくわかります。オートバイでも若い人は良い物をパツと見分けますから。

「そうですね。情報があふれる中で育ってきた人達ですから、一瞬の間にそういう判断ができるんだと思います。」

■売り場を見るな、生活を見よ

—— 事務器械を作っていた会社で、こんな細かいものを作るのは大変だったのではありませんか。

「必要に迫られてという面もありますし、ちょうど経営者の世代交替があつて若返つたんです。

今の社長は、会社は、企業や官庁ばか



「チーム・デミ」。デミとはデミタス(小さい)の意味とか、現在でも月10万個を売るベストセラー



ひとつずつの機能を徹底的に追求し、さらに複合することによって生まれた便利モノ「ファクトリー」

り見ていて、社会から離れてしまった。それを元に戻すんだ」と言います。つまり社会に企業を近づけるといふことです。

社員もジキルとハイドのように二重生活演じるのではなく、なるべく一般の社会生活に近いスタイルで仕事をしろ、というので、服装は自由、オフィスにもBGMが流れるという具合です。

私のところでも、売り場を見るな、生活を見ろと言っています。生活者としての感覚を大切にして、生活を豊かに、便利にする物を生み出さなくてはなりませんから。」

■半歩ひいて控えて

—— 価格はどうかやって決められるのでしょうか。文房具としては高いようですが。

「そうですね。従来のはさみやカッターでそれぞれの機能を揃えればもつと安くなるでしょうね。しかし、これは全く新しい商品です。たとえばファクトリーなら、5000円でも買う、という人がいます。これをかなり割引いて3800円。すると1200円のおつりという勘定になりますね。これがトクした感じになるんじゃないかと思えます。」

—— デザインの基本を言葉でご説明いただけますか。

「一応キーワードがありまして、ポップ、シック、シンプルとあります。あつかわいい、これ欲しい、とワクワクするのがポップ、でも長いこと持っていてあきないのがシック、それをシンプルにまとめるというのですが、デザイナーに言ってもなかなか通じませんね(笑)。

—— ハイテクというかときずまされたものは疲れると思うんです。やはり生活者としての私達が好きなものということになりますか。

—— 今後はどう変化していくのでしょうか。「もつとマジメなものが求められるのではないかと思います。生活に根づく商品というんでしょうか、面白商品でなくて、便利なものをマジメに作る時代になるでしょう。」

—— プームでは終わらないということですか。

「ええ。そのためにも、マジメな作り方をしていますし、ネーミングを初め全体に控え目にやっています(笑)。長続きするためには、やはり半歩ひくべきだと思いますよ。」

マリンスポーツ新時代への期待を集めるヤマハ・ヨット

「マリン元年」——そう呼べるほど、日本のマリンスポーツは、いまかつてない変革の時を迎えています。

貿易不均衡是正のための内需拡大策の一環として、あるいはウオーターフロント開発と呼ばれる大都市再開発のひとつとして、マリンスポーツ関連施設の充実が叫ばれ、関係省庁や地方自治体は、挙げてこれに積極的な取組みを開始しているからです。建設省のマリン・マルチゾーン開発構想など、これに関連した政策は、じつに7省庁、6構想にのほっています。

そうした中で、いまさまざまな方面から熱い視線を浴びているのが、モーターサイクルとならぶヤマハのもうひとつの顔、「マリン」です。

ヨットひとつを例にとっても、世界初の大平洋縦断ヨットレース「ヤマハ大阪カップ・メルボルン—大阪ダブルハンドヨットレース」の開催や、130年以上の伝統を誇る世界最大のヨットレース・アメリカスカップ挑戦計画への参加（31ページに詳細）などの活発な企業活動。また70年の本格的な生産開始からやがて20年、

いまでは10フィートクラスから40フィートまでの豊富なバリエーションを擁し、かつトータル国内シェア70%にのぼる販売実績。

さらにヤマハヨット教室やヤマハ・セーリング協会などの普及活動。これら活動を通じて蓄積されたマリナーや海洋リクリエーション施設の豊富なノウハウなど、日本のマリンスポーツのリーダー、ヤマハへの期待は大いに高まっているのです。

そんな背景の中で、この春一隻の新しいヨットが、関係者の熱い期待を乗せてデビューしました。YAMAHA Y-25・マイレディ（写真）です。

この25フィートのクルーザー（居住設備を備えたヨット）は、一步艇内に足を踏み入れただけで、それまでのクルーザーとは、その方向性が大きく異なることがわかります。そこには、豪華なキャビン、何不自由ない生活のための装備といった、これまでのクルーザーの姿はまったくなく、シンプルでゆったりとした空間が広がり、ゴージャスな装備に代わって、このクラスでは例のなかった独立したマリントイレが備

えられています。もちろん価格も、画期的といえるほどリーズナブル。

しかも水面下のキールやラダーには、最新のレーシング・テクノロジーを採用したエリプチカルタイプが装備され、ポテンシャルもなみなみならぬことを物語っています。

そう、このY-25・マイレディこそは、前述のような社会動向の中で、マリンスポーツを女性を含めたより幅広い人たちに、もっと身近かに楽しんでもらおう、とこれまでにない思い切った「割り切り」のもとに開発された戦略モデルなのです。

そして、営業と技術が一体となって生み出したこの「割り切り」は、新しいマリンスポーツ時代への、大きな糸口になるものと期待を集めています。

こうしていま、遠州灘に面した海のヤマハの本拠、ヤマハ発動機・マリンスポーツ事業部では、初年度400隻販売に向けて、Y-25・マイレディの活動が、力づくよく進められています。



YAMAHA NOW

ヤマハの企業活動は、いまこんな広がりをみせている



情報スクランブル

おもしろい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●歴代のヤマハ車を一挙紹介
『ヤマハモーターサイクルのすべて』

『WAY』や『55MPH』でお馴染みの柏秀樹氏が、ヤマハバイクへの熱い思いを込めて書きあげた一冊。

ヤマハの第一号車、YAAーから最新のFZRシリーズまで、33年間にわたるヤマハの全モデルを、年代別にすべて写真入りで網羅。また、各モデルやその年代にまつわるエピソードなども盛り込まれ、読みごたえも充分です。

ヤマハの歴史を知る貴重な資料として、ヤマハファンの若いお客さまたちにぜひ一読をおすすめください。

柏秀樹著／池田書店 ¥1200



●バイクの醍醐味は林道にあり
『トキメント・林道日本一周』
全国裏道を縦横に走る林道を通じて紹介。しかも単純なコース紹介ではなく、さすらいの野宿ライダー、を自称する寺崎勉氏が、70

日間もかけて実際に走り切った道の実践ツーリングレポートなのがこの本の特徴です。

どこをどう走ると、どんな景色が待っているのか？そんな人間味タップリの内容は、読み手の心を間違いない林道へと駆り立てます。この夏のツーリングプランのご参考にどうぞ。

寺崎勉著／山海堂 ¥1500



WAVE MUSIC SENSOR

※東京・六本木のウェイブがおすすめる、とびっきりのフレッシュユ・サウンド。初夏のバイク・ライフを演出する2枚のアルバムです。

●優しい歌声に心なごむ
『WHITNEY』

(ホイットニー)

全世界で1000万枚を超えるベストセラーを記録した前作『そ



よ風の贈りもの』から3年、ホイットニー・ヒューストン待望のセカンドアルバムが届きました。透明で伸びやかな歌声は、初夏の陽ざしにも似て、聞く人の心をなごませる優しさに満ちあふれています。

フオノグラム・レコード ¥2500

●アダルトな魅力がいっぱい
『Breath less』

(プレスレス)

シャーデー、イザベル、アンテナなど、ヨーロッパのアダルトでジャージーな女性歌手たちの中でも、ひとときわセクシーなハスキーボイスの持ち主、ヴィクター・ラズロ。このアルバムではジャズの大御所、カウント・ベイシー楽団をバックに、魅力たっぷりの歌唱を操り広げています。

ポリドール・レコード ¥2800



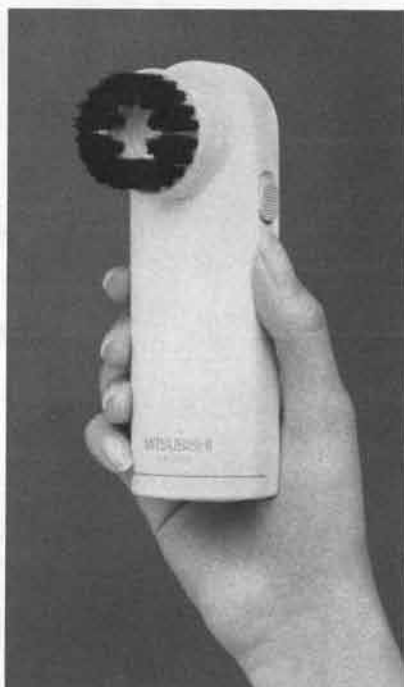
COMMODITY

●ブーツのお手入れを

グッと楽しく

『くつびかくん』

物すべてに電化が進む中で、なぜか今まであまり耳にしなかった



電動式くつみがき。あればきつと便利だろうなア。なんて思っていた矢先の登場です。

最大の特徴は小型で軽量、とてもハンディーなことです。しかも乾電池式なのでコードレス、使い易さは抜群です。これなら靴磨きにつきものの、靴ズミによる手の汚れも心配ありません。お店にひとつ置けば、来店したお客さまたちのブーツのお手入れ用として、大ウケすること間違いなし。一味変わったサービスにいかがですか？

お問い合わせ 三菱電気株 03 (218) 2111 ¥4500

●バイクを降りたライダーにぴったり
『アンブレラハット』

ツーリングを兼ねてのレース観戦、これからの季節はこんな機会も増えることでしょう。でも、ライダーにとって困るのは突然の雨。ちょっと用意のいい方ならレインウェアぐらいは持っているもので走行中はまだ良しとしても、問題は



目的地に着いてからの雨です。なにしてバイク用のレインウェアというのはヘルメットの着用を考えると、頭部を守るフードは付いていないのが普通ですからね。

そこで役に立つのがこの「アンブレラハット」です。パツとひらけばレインウェアとの組合せで全身を雨から完全防衛。しかも折りたためば長さわずか18cm、ライダーにはうれしいコンパクト設計です。

お問い合わせ 東京商事 03(366)1151 ¥1200

女性インストラクターの指導日記 ライダーの五月危機

五月某日 晴れ

日本中がカラカラ天気。鯉のほりも青空に威勢がいい。今年は異常な五月晴れ続きで、農作物にも被害の心配が出ているとか。この季節は、人間サマにも「五月病」という危機を及ぼす。いわゆるスチューデント・アパシー、サラリーマン・アパシーと世間でいう無気力症候群。

健康な私も、毎日眠くて仕方がない。あんまり気候がいいので、休日には実にバイクが多い。最高のバイク日和りとばかりに、さっそうと風を切っていく。先日もヘルメットに、鯉のほりを一尾たてて走って行くライダーに出逢った。そのユーモラスな発想に、思わずバイクを止めて眺めてしまった。あまりの心地良さに、つい無理

ヤマハオリジナル・ベルティ

大空を味方にしたオシャレ ヤマハのアンブレラ

真夏への季節の変わり目。ライダーにとっては青空のもと、日増しに強くなる陽射しを体いっぱい感じていたいのですが、そうもいかないのがこの時期の天気……。活動的なヤングユーザーをしっかりとキャッチするために、ヤマハの傘でちょっと気のきいた演出を心がけてあげましょう。うっとおしい梅雨空も、真夏の強い陽射しも、自己演出のためのうれしい小道具に変身です。

●ブラック・アンブレラ (No.212 ¥2,500)
YAMAHAの文字のワンポイントがとてもオシャレです。●パラソル (No.213 ¥2,800) サーキットでも街中でも、赤、白、青のトリコロールカラーでグッと人目をひきつけます。



な運転を楽しみたいくなるようだが、事故など起きないようにと願ってしまう。心のブレーキがゆるみがちなこの季節は、ライダーにもまた五月危機といえるのかも知れない。

免許試験場も、ゴールデン・ウィークの前日は久びさに原付受験者で膨れあがり、整理券も八百枚を起すほど。あとは混雑する夏休みまで小休状態に入る。それでも毎日若い人達の受験が多い。

この春16才になったばかりの女の子。早生れだから友達の中で、原付免許を取るのが一番最後になってしまったという。やっと受験ができるのでうれしくて仕方がない、やたら明るい。受験する前から、すでに免許を取得しているような明るさだ。たとえ原付とい



えども試験である。これほど受験を喜ぶ子も珍しい。メチャ明で可愛と思う。だが待てよ。ヘルメットの着用義務を、一体どのようにとらえているのか気にかかる。「女の子はヘルメットを気にして、原付免許を取る人少ないんじゃない?」原付は取らずに普通車の免許を取るんじゃないかしら?」

「ウウン。そんなこと無い。私のまわりは皆原付免許持ってる。」

髪は大切だが、彼女を始め友人

達には、ヘルメットの着用義務もさほど支障となっていないようだ。ちなみに原付免許受験者の約6割から7割が、十代の若者とか。

免許講習に参加した少年が、この年代には珍しく予習してきたようだ。机の上に開いたテキストには、しっかりと努力の跡がある。「ウウン、なかなか」と、私は内心うれしい気持ちで講習を始めた。

ところが、どうもそのテキストは、私の講習に一度使われたもののような。聞けば彼の母親がこの講習に参加し、免許を取得したのでテキストを譲り受けたという。彼は、間もなく17才。母親がこの講習を勧めたそうだ。ロコミとはありがたいものだと感じた。

親子の断絶が日常茶飯事の昨今、母親の努力の後をなぞりながら勉強する少年を見るのも、なかなかほえましい。母親が勉強したお古のテキストなど聞く機会は、この息子にとって恐らく二度とないことだろう。母親と息子が、互いに遠くなるこの時期に、少年は親子の関係が、改めて近づく機会を持つことができたのだ。

最後に、歩行者の保護についてひとこと。歩行者の間には安全な間隔をあけるか(必ずしも徐行ではなく)この間隔がとれない場合、徐行しなければならぬ。

子供が思春期になると、親子の間隔にも互いに自律する安全な間隔が必要なのである。(O)

店頭 生情報

みんなに見てもらいたい
それなら大きい方がいい!

毎日の忙しさからつい注意が行届かなくなりがちなのが店内掲示物への工夫です。なにかとお客さまへの「お知らせ」の多いバイク販売だけに、店内掲示物をキチッと整理し、お客さまに見やすく、正確に伝えるのと、そうでないのではその効果も段違い。みなさんのお店でももう一度店内の掲示物を見直してみませんか。

栃木県のO店さんでは、チャレンジ3000キロ「イベント」に合

せて、「YESSインフォメーション・ボード」を自作しました。大きさはなんと畳一枚分、黄色と黒のイエス・カラーできれいに仕上げられたこのボードは、お店の中でも一番目立つ場所、入口を入ってすぐの接客カウンターのうしろに掲げてあります。そしてボードにはエントリーされたお客さまの名前と写真が、走行距離ごとに貼り出しているのです。

もちろん来店されたお客さまの目は、真っ先にこのボードに。特別なPRやエントリーのすすめなどは一切やっていないといいますが、これだけでもお客さまからの反応は最高。毎日のようにエントリー希望者がやってくる。

ニューモデルの
お客さま ⑤

XV400 VIRAGO

雰囲気満足、季節感を 味わいながらの走りは最高です

藤井良吉さん（東京都八王子市）

●40才・飲食業●所有免許・普通車、
中型二輪●乗車歴・3年●XV400
ピラーゴ/カメラアグリオン 62年4
月購入●購入店・YSSP八王子中央●
XV以外に乗用車を所有

特別メーカーにはこだわっていませんが、なぜか気に入ったマシンはすべてヤマハ。このバイクを買うときも、ちょうどそれまで乗っていた「XS400」が車検時期になっていたので、代替を考えて手頃な車種を探そうと専門誌を見ていたんです。

すると初めて見る型で、格好いいバイクが載っているじゃないですか。レジャー然としたオートバイには感覚的にいいので、SRXにでもしようかな、なんて思っていたんです。

が、グラビアページいっぱい写っている「ピラーゴ」を見て、すぐにこれに決めました。

なによりもタンク（トップカバー）回りのデザインが気に入ったことと、スピードを気にせずにノンビリと気楽に乗れる雰囲気が最高ですね。それに友人にすすめられて最近オートバイに乗りだしたため、年令の割に乗車歴が浅い（笑）んですが、そんな私にも軽く扱えるほど取り回しもいいです。

仕事の都合でツーリングに出かける機会は少ないのですが、先日は信州までこれぞ足を伸ばしてきました。街乗りも楽しいけど、季節感を味わいながらの走りはやはり最高。この夏には故郷の秋田まで、ピラーゴで帰ろうと計画中です。



女房を乗せてタンデム。 ツーリングも楽しんでいきます

井上進さん（京都府長岡京市）

●52才・会社員●所有免許・普通免許
●乗車歴・50ccに10年●XV400ピ
ラーゴ/ディープスカーレット 昭和
62年4月23日購入●購入店・YSSP長
岡●XV400ピラーゴ以外の所有車
ペルーガ

私とバイクとの出会いは30年前、銀行に入社した時。外訪のために使用したのが始まりでした。しかし、その3年後には内勤に変わったこともあって、バイクから離れてしまいました。そして10年ほど前に通勤用にペルー

ガ50を購入して、バイクライフが再開。さらにこの4月にはXV400ピラーゴを手にしたのです。

それまでは、今のバイクはスタイルが若い人向きで、なかなか購入をと思っても、いまひとつ決心がつきませんでした。XV400ピラーゴはスタイルも落着きがあり、乗り易そうなので、決められました。

400ccというバイクに今まで乗ったことがなかったので不安でしたが、足つき性のよさ、取り回しのよさなどに助けられて、最近ではだいぶ自信もつきました。

結婚して26年になりましたが、この間は初めて女房を後に乗せて、嵐山までタンデムツーリングにも行ってきましたよ。

若い人ほど長距離は走れませんが、休みの日の息抜きにこれからも長くバイクを楽しんで、たまには女房とのタンデム・デートも、と考えています（笑）。

安全で安心してバイクライフを楽しめるXV400ピラーゴ。息子もこのバイクが気に入ったようで、休みの日にはよく乗り出しています。



全国65会場で一斉開催 春の祭典・バイクフリーク'87



ヤマハのニューモデルに心ゆくまで、見て、触れて、乗っていただく春の恒例イベントとしてすっかり定着した、ヤマハ・バイクフリーク'87が、こしも5月10日と17日の2回に分かれ全国65会場で一斉に開かれました。

ことしのお客さまのお目当ては、なんといつても250、400、750のシリーズ化を完成、さらに話題のホットバージョン・FZR400Rまで加えたFZRシリーズ。そしてTW200、XV400ピラーゴなどのニューコンセプト・モデル。

また各会場とも、これらニューモデルの試

乗会にあわせて、工夫をこらした数かずの楽しい催しが開かれ、つめかけたお客さまは、春の一日、じっくりヤマハ・ニューモデルを楽しんでいました。



京都府の四条デルタ自動車教習所会場には、5月10日、約250名のお客さまが来場。TZR125からFZR750まで、'87ヤマハニュースポーツの走りを満喫



こちらはヤマハ東京、城東営業所会場。用意した試乗車は、熱心なお客さままで終日フル回転

『ONアンドOFF』TV収録も 女性だけのオン&オフ・ツーリング



オフロードYRSの休憩時間には、マイク真木さんを囲んで、「ハイ、ピース!」

2日目は、セローやTWで林道ツーリングへ



スポーツバイクから、用品・ウェアの販売、そして積極的なスポーツ活動で知られる「アンジェラ・パートII」(東京・世田谷、内田アンジェラ代表)さんでは、5月9日・10日の両日同店を中心に活動する女性だけのエンデューロチーム「リトルバーン」のみなさんによる1泊2日のオン&オフツーリングを開催しました。

これは、山梨県・富士山麓のマイクスパークスでのオフロードYRSを目的としたもので、1日目は参加女性ライダーがTZR250、FZR250などの愛車を駆って中央高速道をさっそうとクルージング。そしてマイクスパークスでは、TW200やセロー225に乗りかえてヤマハインストラクターの指導でオフロードYRSを受講。さらに同パーク・オーナーのマイク真木さんを囲んでのデイナータイムをエンジョイしました。

また、翌日はメンバースろって富士山麓へ林道ツーリングが行なわれましたが、この女性ばかりのオン&オフツーリングには、ヤマハ提供のテレビ番組『ONアンドOFF』取材班も同行。女性ライダーの活躍ぶりが、同番組を通じて紹介されることになっています。

人気マンガ家の激闘！ かつびマンガ家 YSRグランプリ

コミック誌で大活躍中の人気マンガ家のみなさんが、日頃の運動不足を解消しようと千葉県の新東京サーキットに集合して、YSR 50によるレースを開いたのが昨年のこと。以来、YSRの楽しさにとりつか



ことしも新東京サーキットに集まったマンガ家YSR・GPライダーのみなさん(上) スプリントと4時間耐久の2部門に55台がエントリー

れたみなさんは、4月27日、再び新東京サーキットに顔をそろえて「かつびマンガ家YSR 87グランプリ」を開催しました。

この日は、スプリント部門と4時間耐久部門に計55台がエントリー。「少年ジャンプ」でおなじみの水谷憲一、広井つお、中山蛙らのみなさんが、華麗なライディングを披露して声援を集めていました。

このYSRグランプリは、東京・墨田区の「SCS墨田店」(飯田浩司店長)さんのバックアップで行なわれているものですが、人気の高さから同店では、この秋にシリーズ第2戦の開催を予定しています。

企業ぐるみの交通安全 第1回NEC・YRS開催



〔ヤマハ東京㈱・柏営〕 社員の交通安全を企業ぐるみで守っていこうと、社員6000名を擁するNEC我孫子事業場さんで、初の試みとしてバイクに乗る従業員さんを対象としたYRSが4月18日(土)に開かれました。

当日は事業所内に作られた特設コースに、平均年齢24才という若いみなさん35名が集まり、運行前点検から走行実習まで、安全運転の基本を学習。講習会の終りにはライディング・コンテストも行なわれ、楽しい雰囲気の中でYRSを終了しました。今回のYRS開催について主催者



の日電厚生サービス㈱・佐々木店長は「楽しみながらのトレーニングは好評で、日頃の安全運転にも効果的。今後もレベルアップを図りながら、継続的に行なっていきたいですね」と、語っていました。

住友海上火災と提携の 販売実務講習会スタート



〔ヤマハ東京㈱・八王子営〕 ヤマハではいま住友海上火災保険㈱さんと提携して、販売店さまのための販売実務や経営ノウハウ講習会の全国展開を計画していますが、その第一弾が去る5月7日、ヤマハ東京㈱・八王子営業所で開かれました。

YSP従業員さんを対象に、講師に元TBSアナウンサーで、現在「話し方、聞き方教室」を主宰している笹倉ミチ子さんを迎えて開かれた当日のテーマは、店頭における接客実務。参加した17名のみなさんは、いずれもサービス担当の方がたであって、最初は不慣れな接客に戸惑いの様子をみせていましたが、熱心に実習をつづけるうちに、みるみる上達。終了の頃には、その挨拶ぶりもすっかり板についていました。

参加したみなさんからは「とてもよい経験になりました。毎日の仕事の中でさっそく生かしていきたいと思えます。また、こうした勉強の機会をもっと増やしていきたいですね」と、期待の声寄せられていました。

さわやかな初夏の高原に Y.E.S.S.仲間、大集合!



〔ヤマハ東京機〕本格的なツーリングシーズンの到来を迎えた4月18日、Y.E.S.S.東京事務局ではこれに合せて、今年初めてのバイクビレッジ、「バイクビレッジ。イン軽井沢」を開催しました。

初夏を思わせる好天に恵まれたこの日、関東各地から新緑の高原を目指したY.E.S.S.スタッフは200名。信州の山なみと浅間山の外周を思い思いにツーリングを楽しみながら、会場となったホテル・グリーンプラザ軽井沢へ。会場では恒例の大親睦パーティーで、ゲームやクイズを楽しみながら夜が更けるのも忘れて交流をつづけていました。



また、翌19日は「TW200」の体験走行会も開催、その後は次回の開催予定地・Y.E.S.S.りんご村・長野県三水村での再会を誓いながら、無事二日間にわたるバイクビレッジの幕を閉じました。

札幌ススキノにY.E.S.S.インフォ メーションコーナー開設

〔北海道ヤマハ機〕全国でも有数の繁華街として知られる北海道札幌市・ススキノのメインストリートに、この春本格的なバイクショップがオープンしました。

これは「Y.S.P.札幌中央(給谷孟社長)さんが広く一般の人たちにもモータースポーツの楽しさを知ってもらおうと、ススキノ交差点際にあるヨークマツザカヤの6階に新店したもので、広さ200㎡の店内には、Y.S.R.50から、F.Z.R.750

まで50台の人気モデルが展示され、ヤングの話題を集めています。

中でも注目的なのは、全国でもめずらしい「Y.E.S.S.インフォメーションコーナー」。ここでは、チャレンジ3000kmの受付をはじめ、ツーリング情報、道内でのモータースポーツイベント案内などを行なっていますが、これからの季節、北海道へのツーリングを計画している本土からのお客さんも、ぜひお立寄りください」と同店では語っています。



雨の中でも元気いっぱい 箱根路でバーベキュー大会



〔鈴木モーターズ機〕全国各地からY.E.S.S.の活発な活動ぶりが伝えられてきますが、ここ神奈川県横須賀の特約店・鈴木モーターズ傘下の販売店さんが結成した横須賀Y.E.S.S.ショップ会では、5月の一、各店のスタッフを一堂に集めてパーティー・パーティーを開催しました。

5月17日、当日はあいにくの雨空となったものの会場の箱根・芦ノ湖畔には、横須賀地区のY.E.S.S.スタッフ80名が元気よく集合。予定されていた屋外ゲーム大会こそ中止となったものの、それでも山盛りの山海の味を楽しみながら和気あいの交流をくりひろげ、今後予定されて

いるMP12レース大会やツーリングなどのイベントに向けて、にぎやか



オフロードY.R.S.開催 YES S新潟県スポーツ店クラブ

〔高橋商店〕新潟県では、YES S ショップ50店さんが集まり、昨年から「YES S新潟県スポーツ店クラブ」を発足させています。

そして、いまこのクラブの重点活動となっているのがオフロードスポーツとツーリングの活性化。さる4月19日には、そんな活動の一環として

「オフロードY.R.S.」も開かれました。岩尾一敏インストラクターを迎え、トレールランド下田で行なわれたこの「オフロードY.R.S.」には、初心者ユザーに交じって、高橋商店スタッフも参加。Y.R.S.の単店開催、地域開催のノウハウ修得に当たりました。



「TC・YES S」 モーターズスポーツで 安全運転テクニクの向上を!

〔ヤマハ・テクニカルセンター〕二輪車専門の教習所として全国に知られるヤマハ・テクニカルセンター（静岡県掛川市）では、このほど同校の卒業生による「TC・YES S」を結成しました。

「モーターズスポーツを通じて安全運転のテクニクを磨こう」というのが、この「TC・YES S」の目的

活動も同校コースを使つての「YS Rミーターリング」大井川河口での「オフロードY.R.S.」さらに「浜名湖ツーリング」と活発にくりひろげられています。どのイベントも定員一杯の盛況ぶり。スタッフみなさんの意欲も、ますます高まっています。

ことしも人気! ファミリーバイクの オフロード・エンデューロ

以前からファミリーバイクによるオフロードのエンデューロレースを開催して人気を集めている神奈川県相模原市の「アクロス」(加藤裕子社長)さんでは今年も全5戦からなる「サガミ・ダ・カーラ」を開催しています。

津久井郡城山町の葉山パーク特設コースで行なわれるこのレースは、ハンドルに前後輪ブレーキの付いた50ccノーマル車を駆って1〜3名1組で5時間の耐久レースを行なうもの。3月15日の第1戦、5月10日の第2戦と回を重ねることに参加者も増え、7月12日にはシリーズのハイライト、8時間耐久レースも予定されています。なお第4戦は9月13日、最終戦が11月1日に開催予定。



にバック・アップ アメリカ杯1991



完走46艇、 "SDC波切大王"が総合優勝!

初の太平洋縦断ヨットレースとして、世界中の注目を集めて開催されていた「ヤマハ大阪カップ」メルボルン〜大阪・ダブルハンドヨットレースが、熱戦の幕をおろしました。

3月22日、初秋のオーストラリア・メルボルン港をスタートした7カ国、64艇のうち10200kmを走り抜いたのは46艇。31日19時間6分26秒という、大方の予想をはるかにくつがえすスピードで総合優勝に輝いたのはW・トンプキンス/大儀見薫組の日本艇「SDC波切大王」。5月9日には大阪・都ホテルにおいて表彰式が行われ、総合優勝の波切大王はじめ総合4位、レーサーBクラス優勝の「キリビリー」(オーストラリア)総合10位・クルーザークラス1位の「リウォード」(ニュージーランド)などが盛大な表彰を受けました。

また、ヤマハ艇を駆って日本から出場の4チームも、そろって完走。強豪レーサーにまじってのみごとな走りに惜みない拍手が送られていました。なお、ヤマハ艇のトップは「つばくろ」(Y-R34) 幸村/岡田組、総合22位です。

みごと総合優勝に輝いた、W・トンプキンス、大儀見薫のSDC波切大王ペア



世界最大のヨットレースとして知られる「アメリカズ・カップ」は、今年のオーストラリアから、再び舞台をアメリカに戻し、次大会が1991年に開かれることになっています。

そして、この世紀の大レースに、日本から2番目の挑戦チームとして、ニッポン・チャレンジ・シンジケートが誕生しました。(財)日本外洋帆走協会をエントラントとする「ニッポン・チャレンジ」チームには、ヤマハもメンバーの一員として参加、江口秀人社長が運営母体となる「ニッポン・チャレンジアメリカ杯1991委員会」の副会長の任に当る他、小松一憲選手がキャプテンとなつて、クルーの育成を進めることになっています。

日本のマリンスポーツの一大飛躍をめざして展開される、この「ニッポン・チャレンジ・アメリカ杯1991」の活躍に、どうぞご期待ください。

ヤマハも積極的 "ニッポン・チャレンジ"



NIPPON CHALLENGE
AMERICA'S CUP 1991



活動の第一歩として5月にニュージーランドに遠征した、ニッポン・チャレンジ・チームのみなさん

■'87世界選手権ロードレースシリーズ マモラー1位、ローソン3位、平5位、 YZR勢着実に上位へ！

20年ぶりの日本GPで幕を開けた'87世界選手権ロードレースシリーズは、5月17日の西ドイツGPで3戦を終了。やっと16分の3を消化したばかりだが、注目の500ccクラスでは、R・マモラー、W・ガードナー、E・ローソン、R・ハスラムそしてわれらが平忠彦……と強豪が順当にランキング上位に名を連らね始めた。

ローソン待望の今季初勝利
平も4位にノ(第3戦)

花冷えの鈴鹿サーキットから一転、シリーズ第2戦は、4月26日、気温32度という南スペインのヘレスサーキットに12万人の大観衆を集めて行われた。

日本GPをリタイヤという不本意



3戦目にして待望の1勝をマーク。ランキングでも3位に浮上し、着実にV2軌道に向かい始めたローソンとYZR500

期待の平も全戦確実にポイントを上げもった5位



な結果で終わらせたチャンピオン、ローソンと'87YZR500は、みちがえるように快調、ブラクティスで1分50秒69のコースレコードをマーク。平も5番手につけた。

4・2・8*を30周して争われた決勝こそ、ガードナーに次いで2位に終わったものの、今季初のランキングポイント・12を上げて、着実にV2への駒を進め始めた。平は7位。次く第3戦は、5月17日、舞台をホッケンハイムに移しての西ドイツGP。4kmにのぼるストレートでは、500ccで楽にオーバー300km/hに達するという高速コースである。快晴のもと、9万人の観衆が見まもるなかでスタートした500ccクラス決勝は、ガードナー、ローソン、

ハスラムのリードで進行したが、9周目にローソンがトップに立つと、そのまま快調に19周をクリア。平均時速191・746km/hで、待望の今季1勝目を上げた。

また、この日は2位にマモラー、4位に平、5位R・マツケルナーとYZR勢が揃って上位を占め、大いにファンを湧かせていた。

「これからドンドンよくなります。見ていてください」という平選手のかつよいメッセージも寄せられている。

この結果、3戦終了時のランキングは、①マモラー32点、②ガードナー28点、③ローソン27点、④ハスラム26点、⑤平17点、⑥P・キリ13点とつづいている。

YZR編隊、1〜3位
独占(第2戦)

一方、250ccクラスでは、第2戦・スペインGPでYZR250勢が、はなばなし活躍をみせた。この日は、イタリアの新鋭L・カダローラをトップに、予選1〜4位をYZRライダーが独占。

決勝でもPPからスタートのカダローラをトップに、M・ウィマー、J・ガリーガ、P・イゴアとYZR編隊のリードでレースは進行したが中盤からウィマーがカダローラを押さえてトップに立つと、そのまま今季1勝目をマーク。2位カダローラ、3位ガリーガ。

なお、3戦終了時のランキングでは、21点のウィマーが3位。負傷で出遅れているC・ラバードが、第3戦6位と、復調の兆しを見せはじめている。



今季も大混戦の250ccクラス、第2戦ではウィマー(1位)中央、カダローラ(2位)右、ガリーガ(3位)左のYZR勢が上位独占を果たした。

■全日本選手権ロードレースシリーズ 藤原、片山、ワン・ツー勝利 ともに筑波の コースレコードも樹立

ロードレースの全日本選手権シリーズも、4月26日の第3戦・鈴鹿大会、5月10日の第4戦・筑波大会で序盤の4戦を終了。メインレース国際A級500ccクラスでのYZRの新鋭、片山信二、藤原儀彦の大活躍が話題を呼んでいる。

鈴鹿の第3戦を6位(片山)、7位(藤原)に終わったこの2人は、第4戦・筑波でガ然ハッスル。前日の予選で'86YZR500の藤原が58秒40、'87YZR500の片山が58秒51、とそろって2年半前に平選手が記録した筑波サーキットのコースレコード58秒85を更新して注目を集めた。



国際A級2年目、YZRも2年目で初優勝の藤原。素顔は弱冠20才の好青年だ。

ノーズのランデブー走行をつづけ、結局このままの順位でワン・ツーフィニッシュ。藤原は、YZR500での出場2シーズン目で、嬉しい初勝利を収めた。

25000人の観衆が固唾をのんで見守る中で、25周にわたってくりひろげられた⑥藤原、⑨片山、2台のYZRの好バトル



■全日本選手権トライアルシリーズ 伊藤敦志、3勝目



中盤までのレースで、3勝目を制した伊藤

TY250を駆るヤマハラライダーの大活躍が話題を集める'87全日本選手権トライアルシリーズは5月3日、愛知県岡崎市の享成交通大学で第4戦が、つづいて5月17日、スポーツランドSUGOで第5戦が行なわれ、シリーズも中盤戦を迎えている。

そんな中で快調にシリーズをリードする伊藤敦志とTY250改は、激しい雨の中で行なわれた第4戦で今季3勝目を上げた。この日は、ぬかるんだセクションに全選手が大苦戦、15セクション、3ラップをほとんど選手が200点以上の減点。その中で伊藤は、確実なトライで最少減点194でまわり、わずか1点差でライバル山本昌也をおさえ優勝した。

つづく第4戦SUGO大会は、曇り後雨の悪コンディションの中で行なわれたが、一周8kmのコースに設けられた15のセクションを、6時間

で3ラップするこの大会では、山本昌也が総減点59で今季初勝利。注目の伊藤は3点差で惜しくも2位。ま

'87TT-F1レポート ヤマハ勢、上位独占 (第2戦・ハンガリー)



8月の第7戦・日本ラウンド、SUGO大会に向けてもり上がる、'87TTフォーミュラ世界選手権シリーズ。その第2戦・ハンガリー大会が5月3日、ブタペスト郊外オンガロリンクで開催された。

このレースでは、ヤマハを駆るV・フェラーリ(イタリア・写真)が快走。2位に20秒の差をつけて圧勝。また2位のD・タルドツィははじめ1-5位中、3位以外のすべてをヤマハ勢が独占して話題を呼んだ。この結果、シリーズランキングでもヤマハに乗るP・ラバットが16点でトップ、フェラーリとP・イッドンがともに15点で追っている。

第3戦は、伝統のマン島TTレース、そして第4戦は、世界GP第7戦・ダッチTTと同時開催のオランダ・ラウンド——シリーズ戦は、ますます興味深くなっていく。

8月28日~30日第7戦
SUGO大会開催



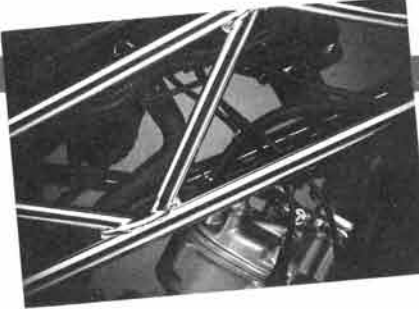
6月のレーシング カレンダー

- 6月7日 ▼世界GPロードレース⑤ オーストラリア
- ▼全日本ロードレース⑥ 鈴鹿200km
- ▼全日本トライアル⑧ 茨城県真壁
- 6月14日 ▼世界GPロードレース⑥ ユーゴ
- ▼500ccモトクロ⑦ イタリア
- ▼全日本モトクロス⑤ 松山
- 6月21日 ▼250ccモトクロ⑥ ユーゴ
- 6月25日 ▼TT-F1④ オランダ
- 6月28日 ▼世界GPロードレース⑦⑧⑨⑩ オランダ
- ▼250ccモトクロ⑦ サンマリノ
- ▼125ccモトクロ⑥ フランス
- ▼全日本ロードレース⑦ 筑波

た3位に坂口澄男、4位に中川義博のTY勢が入った。

この結果、ランキングポイントでは、伊藤敦志が、2位山本に4点差をつけて首位をキープ。74点で中川が3位につけている。

来店客へのフォローをよろしく 『SDR』市場導入キャンペーン実施!



いまヤマハでは、この夏発売予定のニューコンセプト・モデル、2サイクル・シングル『SDR』の市場導入キャンペーンを展開中です。その第一弾は、全YES Sスタッフを対象とした『SDR新発売予告DM』。そして第二弾は、6月1日発行の『オートバイ』『モーターサイクリスト』の2誌を通じての『SDR新発売予告広告』

このふたつによって来店を促進し、さらに来店者にはフォロイDMを発信、確実に6月下旬からの予約セールにむすびつけていたというものです。

新しいスポーツバイク時代を切り拓く2サイクル・シングルテイスト、ウルトラライトスポーツ『SDR』、キャンペーン期間中のお客さまへの対応、どうぞよろしくお願ひいたします。

こども8時間耐久レースで YES Sスタッフ・サービス大展開!

7月25・26の両日、三重県・鈴鹿サーキットで開催される恒例のビッグイベント『ズズカ8時間耐久レース』。YES Sでは、こどもこの一大レースを通じて活発なスタッフサービスを展開しよう、次の4つのメニューを企画しました。どうぞ、みなさまのお店でも観戦ツアー計画などとあわせて、このYES Sスペシャル

① YES Sレーシングチーム応援Tシャツプレゼント

ヤルプランをフルにご活用ください。

② YES Sレーシングチーム 87ズズカ8耐チャレンジ記念ステッカープレゼント

全国ヤマハ会の協賛で実施するTシャツプレゼント。往復ハガキでお申込みのYES Sスタッフ全員に、レース当日YES Sステーションにおいて、YES Sレーシングチーム応援Tシャツをプレゼントします。

③ YES Sレーシングチーム ヘルパーギャル大募集

YES Sレーシングチームのヘルパーとして活躍いただくギャル2名を、YES S女性スタッフから募集します。

④ チームYES S エントリー記念Tシャツプレゼント

ノービス4時間耐久に出場するYES Sスタッフに、エントリー記念Tシャツ、1チーム5着をプレゼント。



※詳細は、担当セールスマンにお問合わせください。

SAFETY & MOTOR SPORT

新LVソフト完成、平選手の勇姿と 限定解除ノウハウを同時収録



YRS 50
CCライセン
スコース・
レザビジ
ヨンスター
インステム
のハードを
より有効に
ご活用いた
だくために、このほど新しいLVソフトを製作いたしました。

このソフトは、A面に「ザ・チャンス オブ0.09 タダヒコ・タイラ」昨年のワールドGPにおける平選手の活躍ぶりを、またB面には「チャレンジ・ザ・ビッグバイク」限定解除のための知識と実技のポイントを収録。

グループ・アルファの軽快なサウンドと軽いナレーションを中心にまとめ、シヨールームのBGVとしても効果的にご利用いただけるのが特徴です。

▼「ザ・チャンス・オブ0.09 タダヒコ・タイラ」(非売品) 詳細は、担当セールスマンにお問合わせください。

今年も開催

第2回バリ島バイクツーリング

昨年10月に開催され好評を集めた第2回日企画センターの『バリ島バイクツーリング』の第2弾が、ヤマハの協賛のもとに、今年も次の日程で開催されます。

- ▼第2回バリ島バイクツーリング
- A・・・東海岸コース 7月16・21日
- B・・・西海岸コース 7月21・26日

●費用・・・208000円(A Bコース共)
YES S会員特典有
※問合わせ先・・・(株)毎日企画センター「バリ島バイクツーリング係」 ☎03(212)0401

YES Sステーション 全国19のレース場で開設

全日本選手権レースなどビッグイベントの会場で、来場したYES Sスタッフへのサービスと、ヤマハのYES S活動やレース活動のPRを行なう『YES Sステーション』が、いまモータースポーツファンの人気を呼んでいます。

この『YES Sステーション』では、さまざまなユーザーサービスの一環としてヤマハ・オリジナル用品や各種製作物の即売なども行なわれています。6月以降の開設スケジュールは、次のとおりです。ご来場の際は、お客さまともども、ぜひお立ち寄りください。



好評です！ 新しい整備伝票、見積書

修理サービス料金の明確化をさらに徹底し、お店に対するお客さまの信頼感向上にお役立ていただくとうと、この春から用意した整備伝票と作業見積書、みなさまのお店では、もうご利用いただいていますか？

その後のご商売展開にさまざまに活用できる、貴重なお客さま情報の収集も考慮した内容のこの整備伝票と見積書をお店でも、どうぞご利用ください。

▼整備伝票 A 4判・50枚綴 価格400円(店名刷込みなし) 850円(店名入)
▼整備伝票 B 6判・50枚綴 価格180円(店名刷込みなし) 580円(店名入)



▼見積書 A 4判・50枚綴 価格3000円(店名刷込みなし) 5900円(店名入)
※なお、店名刷込みの最低注文ロットは50部です。
※詳しくは、最寄りのヤマハ特約店・販売会社のサービス課宛お問合わせください。

バイクは、心の新大陸

スポーツバイク需要創造キャンペーン

6月はゼロー225で展開



たまには、気持ちのホコリや
ザビも落としてあげましょう

バイクは、心の新大陸、をスローガンに、テレビ、新聞、男性誌、女性誌など多彩なメディアを通じて、幅広い層にスポーツバイクのすばらしい世界をアピールしているスポーツバイク需要創造キャンペーン、6月はゼロー225をテーマに、次のようなスケジュールで展開される予定です。

夏のスポーツバイク商戦もう目前。どうぞお店でもこの広告キャンペーンを夏のスポーツバイクセールにお役立てください。

- ▼ テレビCF 月曜ロードショー ON AND OFF
- ▼ 新聞・朝日新聞・6月16日(火)
- ▼ 一般誌・週刊プレイボーイ・6月17日号
ホットドッグ・プレス・6月25日号、アンアン・6月19日号
- ▼ アドボード・東京・原宿
- 6月のヤマハ提供テレビ番組 (ON AND OFF)
- ▼ 6月5日 「初夏を感じて……」
- ▼ 6月12日 「山の息吹に誘われて」
- ▼ 6月19日 「風はSE」
- ▼ 6月26日 「風間深志と北極点」
- ▼ 月曜ロードショー (TBS系全国ネット)
- ▼ 6月1日 「若き勇者たち」
- ▼ 6月8日 「バーバレーラ」
- ▼ 6月15日 「スペース・バイレーツ」
- ▼ 6月22日 (お休み)
- ▼ 6月29日 「クレイジー・ナイト」

KART



レジャーカート『LK285』

親子で、カップルで楽しめる『LK285』は、静かな空冷4サイクル・OHVエンジンを搭載。デフや新機構サスペンションも備えた本格派。またフォーミュラカータイプ・フルカウル『SK125』は、空冷・4サイクルOHV・25ccエンジンで、48〜65キロのスピードを楽しむことができます。価格は、両タイプとも98万円です。



スポーツカート『SK125』

新感覚のレジャーカートと レーシーなスポーツカート新発売！

この春からヤマハでは、新感覚のスタイリングと快適な乗り心地のレジャーカート『LK285』とF1イメージのスポーツカート『SK125』を新発売しています。

この2モデルは、いずれも全国のスポーツ・レジャー施設、リゾート施設を対象に新開発したもので、スポーツランドSUGO、つま恋、合歓の郷のヤマハレクリエーション施設では、すでに営業を

●YESUSステーション開設予定

- ▼ 6月7日・全日本ロード鈴鹿200キロ
- ▼ 6月14日・四国モトクロス
- ▼ 6月28日・全日本ロード筑波
- ▼ 7月12日・全日本ロードSUGO
- ▼ 7月19日・近畿モトクロス
- ▼ 7月26日・鈴鹿8時間耐久レース
- ▼ 8月9日・全日本ロード筑波
- ▼ 8月30日・SUGO T T F I
- ▼ 9月6日・トライアル日本GP
- ▼ 9月13日・全日本ロードSUGO
- ▼ 9月27日・全日本ロード鈴鹿
- ▼ 10月11日・モトクロス日本GP SUGO
- ▼ 10月18日・TBCビッグロードレース
- ▼ 10月25日・富士インターナショナル
- ▼ 11月8日・MFJジャパンカップ



バイクからマリッジジェットへ 遊び心で広げる、クラブのフイールド

■YSP徳島中央／二宮茂信社長 徳島市助任本町4丁目19の4

チームYSP徳島中央

発足 '86年1月
 会員 16歳から25歳までの男性15名。平均年齢20歳。
 活動 岡山県の中山サーキットで開かれるロードレースへの参加とスポーツ走行を目的に活動するチーム。活動のメインとなる同サーキットでの「走行会」は2カ月に1回開催。1回の「走行会」につきクラブ員の費用は1人15,000円。これには11トントラックによるマシン輸送とマイクロバスでの送迎がバックされている。この「走行会」にはフリーの参加者も多く、1回の参加者が20名をこえることもある。

お客さまの80%がスポーツユーザー。ロードレース、エンデューロ、ツーリングなどの活動には、あわせて50名近い参加者を集める、というYSP徳島中央さんは、今年オープン3年目。
 そんな中でロードレースとスポーツ走行を活動のメインとする「チームYSP徳島中央」は今年2年目を迎えます。そして最近にわかにチーム員の間で話題を集めているのが「海のライディング」、マリッジジェット。今月は遊びどころで、陸から海に活躍の範囲を広げるフレッシュなみなさんをご紹介します。



バイク感覚で 海の走りをエンジョイ

徳島県を東西に流れる吉野川。いつでもここは河口から僅か数キロメートル。お店からも10分ほどの潮のかけこり漂うマリンスポット。
 TZR250やFZR250など……

各自の愛車で集合してくださったのは「チームYSP徳島中央」のメンバーと、YSP徳島中央さんに集うスポーツバイクのお客さま。ヤマハ・マリッジジェットで普段とはひと味違った海上のライディングを——というのが今日の目的。さっそくお店からトラックで運んだマリッジジェットが降ろされてエンジンの始動です。
 「そうそう。左右両足に同じように荷重してバランスをとって……」
 「あまり急にアクセルを開けない方がいいよ」
 「そうそう……頑張って」——そんな声援が飛びかいますが、しばらくすると「ドッポン」。

「ああ、また沈だヨ」という声、笑い声とタメ息に混って聞こえてきます。そんな和気あいあいの雰囲気の中、この日は内輪さん、後藤さん、山口さんが

クラブ員の中は、こんな「ベテラン」も

女性もまじえてマリッジットで遊ぶチームYSP徳島中央のみなさん。



海のライディングにトライ。「沈」までの航続距離が一番長かったのは「ベテラン」の内輪さんです。
「バイク感覚で海の上を走りまわれるのが最高の魅力ですね。本当におもしろいバイク感覚のポートっていうか、ポートらしくないポートっていうか……」と大満足。

楽しみたいクラブ員に、しっかり応える

このようにヤマハマリッジットの登場で、陸から海まで、新しい遊びに挑戦する「チームYSP徳島中央」のみなさんですが、この積極性は自然に生まれたわけではないようです。

「チームの走行会も、はじめは6人くらいしか集まらなくて、「赤字」なんていうこともありましたが、でもスポーツ走行

やロードレースを志向する人たちにマシンの保管スペースを提供してあげたり、店の整備スペースを使わせたり——そんなサポートをつづけていたら、いまでは20名近い方が走行会にも参加してくださるようになりました。

チームといっても別段プロをめざしているわけではありませんし、結局はクラブ員ひとりひとり楽しんでもらうことが第一。意欲のあるクラブ員のニーズに、しっかり応えることだと思っています。それが私のやり方です。

もちろんその中で私自身も楽しんでしまう。自分が楽しければ、やっぱりみんなも楽しいと思います。林道でも、エンデューロでも、バーベキューでも、みんな同じです」と一宮社長は語ります。

来年は、マリッジットのクラブも

つまり「色んな遊びに積極的にとり組む」という一宮社長の姿勢が、このマリッジット人気をクラブにもたらしたというわけですが、今後のクラブ運営については――。

「とりあえず今年にはミニバイクレース参戦とレディスクラブ発足が課題。そして来年あたりにはこの「マリッジットのクラブ」を作りたいなアと思っているんです。クラブでマシンをリースすれば、メンバーひとりあたりの負担も少なくて済みますから、スポーツバイクの人も入りやすいでしょ」

マリッジットのインストラクター講習会参加を一週間後に控え、一宮社長の構想はすでに来シーズンへ向かっていまいた。



オープン3年目を迎えるYSP徳島中央さん。近くの板野スポーツランドでの2時間エンデューロも人気を呼んでいる

“遊べる”店舗で カップルから、ファミリー まで幅広く誘店

YSP気仙沼 畠山 稔専務

宮城県気仙沼市上田中1-8 ☎0226(24) 1331

地方都市の郊外に、オシャレなお店が立ちならび、バイクやマイカーで訪れたヤングたちが、ゆつくりと時間をすごしていく……大都市に比べて遊びの少ない地方都市ならではの光景ですが、今月お訪ねした「YSP気仙沼」さんも、まさにそんなお店。オープン2カ月、早くも格好のプレイスポットとして地元ヤングの評判を呼んでいます。

●広範囲の来店を 狙った郊外型店舗

遠洋漁業の基地として知られる宮城県気仙沼市にビッグなYSPがオープンした、とうかがってお訪ねしたのが、「YSP気仙沼」さん。三陸海岸に沿って宮城県の仙台と青森県の八戸を結ぶ国道49号線に面した、このお店は市内の競名輪業商会(競名上社長)さんの2番目の支店。気仙沼の市街地から車で約10分、国道と将来のバイク用地の角地・200坪に建つ76坪の店舗は、噂にたがわぬビッグスケールです。

「地方都市では最近、郊外に伸びるバイクに沿って、さまざまな小売業が出現し、発展していく姿がみられますよね。バイクやクルマでやってくるお客さまを対象に。うちもそんな狙いから近い将来国道45号線とバイクパスが交わるこの場所に出店したんです」と語るのは畠山稔専務。

「3月27日のオープンから3日間、店頭展示会を開いたのですが、800名を越えるお客さまが来店されました。中でも

印象的だったのは、向かいのホームセンターに日用雑貨を買いにやってくる若いカップルや家族づれが、その足でうちにも立寄ってくれたことなんです。

こうした立地の良さを最大限に生かして、将来は宮城県北部を中心に、南は石巻から北は岩手県の大船渡、西は一関周辺にまで商圏を広げたい」というのが、畠山専務の構想です。

●“遊べる店”を テーマにした店づくり

そして、「YSP気仙沼」さんのL字型をした特徴的な店舗には、お店のそんな構想を実現させるための、さまざまな工夫が施されています。

「店舗は“遊べる店”をテーマにすべて考えてあります。カップルでも、ファミリーでも、バイクに乗ったこと、触ったことがない人でも遊びに来れるような店、という意味です。

この辺のユーザー動向をみると、第一にいえるのがユーザーの高齢化なんです。高校を出るとすぐ普通免許を取って乗用車を購入する、22〜23才頃まで

はそのローンに追われて、乗りたくてもとてもバイクまで手がまわらないというのが現状。23才から上、多少ゆとりができた人たちがバイクに乗り始めるんですね。それだけに、店を選ぶ眼も厳しい。きれいな店内、豊富な品揃えは当然、ブラស់アルファの魅力がなければ……。それをうちでは“遊べる店”にしよう、というわけなんです」

●きめ細かな “遊べる工夫”

展示試乗会などのイベント会場として利用できる店頭スペース、ショーウィンドに沿って一段高く設けられた白いタイル貼りのテラス、さらに店内一段低くなったテイステイモデル・コーナー、その奥のスーパースポーツ・コーナー、用品コーナー、白いらせん階段を登って2階テラス状の展示スペース……と、たしかに店内には“遊べる”要素がいっぱい。これなら「1年もあれば周辺のツーリング・スポットは走りつくしてしまう。後の遊びは、週末のショッピングだけ」という、気仙沼周辺のヤングの遊び心にもしつかりと応えられることでしょう。「6回も設計変更して、やっと決まったレイアウトなんです(笑)」



テイスティ・モデルのコーナーで接客中の畠山専務



お店のスタッフは4名。右から畠山専務、吉田理香さん、競名勝店長、畠山好二さん

店頭一段高いテラスを設けたのは、前の道路を走るクルマからもよく見えるように。また店内は、テイステイコーナーをダブルと白のチェック、スーパースポーツコーナーを黒、用品コーナーを白、といった具合に床の色を変えて、各コーナーごとに異なった雰囲気づくりをしてみました。

中でも、自慢はテイステイ・モデルのコーナー。ここはヤマハのインシード用品とコーディネートし、チェックのフロアカーも一段低くしてシックな雰囲気を出しながら、ショールーム全体のアクセントにしてみました。それと廃物利用のらせん階段を昇った2階テラス。ここでは、女の子、ヤング、若いカップルなど、さまざまな人たちの「マイルーム」の演出で、バイクライフを提案していきたいと考えているんです」

●固定客化を促進する 7つのクラブ

このように、“遊び”にやってきたお客さまを知らず知らずのうちにバイクの世界に引き込んでしまうような魅力的な店内演出と並行して「YSP気仙沼」さんのセールスポイントとなっているのが、

2階テラスからみたスーパースポーツコーナー、黒い床材がきている。



ショールーム右手、チェックの床が一段低くなったテストモデル・コーナー、正面奥がスーパースポーツコーナー、中央の白いらせん階段を昇ると2階テラスへ

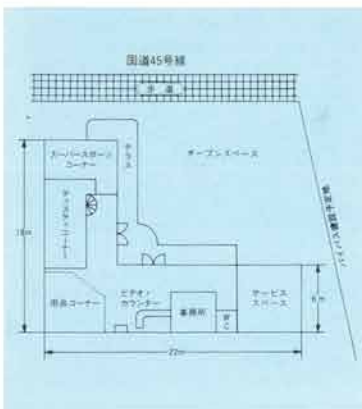


スクーターも並びソフトな雰囲気のある2階テラス

雑然とした中にも情報がいっぱいのお客さまコーナーと事務カウンター



ヤマハ・オリジナル・ノベルティ……こんなグッズが、バイクに無縁な人をも大いに遊ばせている



中でも私が入力しているのは、店のYESイベントとして今年4戦開催を予定している。気仙沼プロダクションロス。6年間も続いている市販ノーマル車のモトクロスなんですけど、1日に40台が集まります。この夏はぜひこのイベントを通じてTW200、セロー25、DT、XTなどオフロードのお客さまを増やしたいと思っています」昔から地理的に閉ざされた場所柄、逆に流行や情報、遊びには敏感、といわれる気仙沼で「地域の遊びや情報の発信基地に！」とほりきる「YSP気仙沼」のみなさんです。

活発なクラブ活動。18年の歴史を誇るモトクロスクラブ。気仙沼スポーツライダース。を筆頭に、本支店共通でいまやオンロードのツーリングクラブが3つ、オフロードのツーリングクラブ、トライアルクラブ、さらに昨年結成されたロードレースクラブと、なんと計7つのクラブが活発な活動を展開しているのです。「どれも、お客さまが自主的に運営されているクラブばかり。ツーリングひとつ例にとっても、ヤング、アダルト、女性それぞれのお客さまが、それぞれ自主的に集まって楽しまれているんです。当然オープンしたばかりの「YSP気仙沼」としても、この7つのクラブを母胎にして、お客さんにバイクの楽しさを提供していくことになりませぬ。

APPAREL

人気のキャラクターシリーズ マールボロ・ヤマハ/ソノート・ヤマハに サマーバージョン新登場

レーシーなバイクライフを楽しむお客様との間で、圧倒的な人気を集めているヤマハライディンググッズのキャラクターシリーズ《マールボロ・ヤマハ》と《ソノート・ヤマハ》に、待望のサマーバージョンの新登場です。おしゃれなホワイト・ウルゾンを追加した《マールボロ・ヤマハ》シリーズは、全10アイテム。おなじみのフアラウ

エーブルも一段と鮮やかな《ソノート・ヤマハ》も全10アイテムのホワイトバリエーション。7月の鈴鹿8時間耐久レース、8月のSUGO・TTF世界選手権レース……と例年にも増してレーシーな87年・夏。どうぞお店でも、新登場の《マールボロ・ヤマハ》《ソノート・ヤマハ》シリーズで、お客さまにお応えください。



- ① マールボロヤマハS/Sブルゾン
●素材：ナイロン100% ●カラー：ホワイト
●サイズ：M、L ●価格：¥26,000
- ② マールボロヤマハ・メカニックスーツ
●素材：ポリエステル65%、コットン35% ●カラー：レッド ●サイズ：M、L ●価格：¥14,800
- ③ マールボロヤマハ・Tシャツ
●素材：コットン100% ●カラー：ホワイト、レッド ●サイズ：M、L ●価格：¥3,500
- ④ マールボロヤマハ・タンクトップ
●素材：コットン100% ●カラー：レッド ●サイズ：M、L ●価格：¥3,000
- ⑤ マールボロヤマハ・カッターシャツ
●素材：コットン100% ●カラー：ホワイト ●サイズ：M、L ●価格：¥9,500
- ⑥ マールボロヤマハ・ポロシャツ
●素材：コットン100% ●カラー：レッド、ホワイト ●サイズ：M、L ●価格：¥9,000
- ⑦ マールボロヤマハ・キャップ
●素材：ナイロン100% ●カラー：レッド ●サイズ：フリー ●価格：¥2,800
- ⑧ マールボロヤマハ・ウエストバッグ
●素材：ナイロン100% (PVCコーティング) ●カラー：レッド ●価格：¥4,800
- ⑨ マールボロヤマハ・パース
●素材：ナイロン100% (PVCコーティング) ●カラー：レッド ●価格：2,800
- ⑩ マールボロヤマハ・ティバック
●素材：ナイロン100% (PVCコーティング) ●カラー：レッド ●価格：¥7,500



- ① ソノートヤマハS/Sブルゾン
●素材：ポリエステル100%、ウレタン加工 (シャモニー) ●カラー：ファラウェーブル ●サイズ：M、L、LL ●価格：¥14,500
- ② ソノートヤマハ・ポロシャツ
●素材：コットン100% ●カラー：ファラウェーブル ●サイズ：M、L ●価格：¥6,800
- ③ ソノートヤマハ・Tシャツ
●素材：コットン70%、ポリエステル30% (ハイローカス) ●カラー：ホワイト、ファラウェーブル ●サイズ：M、L ●価格：¥2,900
- ④ ソノートヤマハ・メカニックスーツ
●ポリエステル65%、コットン35% (ルアナ) ●カラー：ファラウェーブル ●サイズ：M、L、LL ●価格：¥9,800
- ⑤ ソノートヤマハ・キャップ
●素材：ナイロンツイルPVC ●カラー：ファラウェーブル ●価格：¥2,500
- ⑥ ソノートヤマハ・ウエストバッグ
●素材：ナイロンツイルPVC ●カラー：ファラウェーブル ●価格：¥3,200
- ⑦ ソノートヤマハ・パース
●素材：ナイロンツイルPVC ●カラー：ファラウェーブル ●価格：¥2,300
- ⑧ ソノートヤマハ・ポーチ
●素材：ナイロンツイルPVC ●カラー：ファラウェーブル ●価格：¥4,200
- ⑨ ソノートヤマハ・クラッチバッグ
●素材：ナイロンツイルPVC ●カラー：ファラウェーブル ●価格：¥2,000
- ⑩ ソノートヤマハ・ステッカー
●価格：¥600

HELMET

FE-X & OE に テイスティなニューカラー新登場

“洗えるヘルメット”として人気を集めるジェットオープン・シールドタイプ『OE』とフルフェイスタイプ『FE-X』に、テイスティなニューカラー“ミッドナイト・シルバー”が新登場します。SRX400/600やXV400ピラーゴなどにピッタリのシックな色合い、そしてさわやかなマルチディメンション・プログラムがこれからの季節に真価を発揮します。



FE-X ● サイズ：M、L ¥36,000



OE ● サイズ：M、L ¥28,000



BOLT-ON セロー225 ホワイト/レッド用 ボルトオンアクセサリ

5月中旬から新登場しているホワイト&チャビィレッドのニュー『セロー225』。これにあわせてセローのマウンテン・トレール機能をさらに高める専用オプション、4種も用意しました。どうぞ、おすすめください。

- 大型ブラッシュガード(白) ¥1,500
- オーバーフロントフェンダー(赤) ¥2,200
- フロントフォークカバー(白) ¥3,100
- サブキャリア ¥4,000

コンペ・マシンの運搬に 多目的トレーラー“エスコ”シリーズを

サーキットに、モトクロス場に、コンペティション・マシンの運搬に便利な『エスコ』シリーズです。モトクロス車2台の積載可能な『エスコ9』、3台積める『エスコ11』の他に、カートトレーラー、スノーモビルトレーラーもあります。



- エスコ9 ¥280,000
- エスコ11 ¥335,000
- ヒッチメンバー (車種により異なります) ¥50,000 ※この標準価格に輸送費用がプラスされます。



CHEMICAL

ヤマハ純正高性能4サイクルオイル エクストラZ新発売

高性能4サイクル・エンジンにあわせて新開発したハイグレード・エンジンオイル『ヤマハ・エクストラZ』が新登場しました。このエクストラZは、新素材ベースオイルを採用し、超高粘度指数を実現した最高級SFクラスのオイルです。とくに、高温・高負荷についエクストラZの特性は、シーズンを問わずあらゆる状況においてその威力をフルに発揮するもの。4サイクルスポーツのお客さまに、ぜひおすすめください。

- 1ℓ キャップ缶 ¥1,500
- 20ℓ 缶 ¥時価



